

千葉県 産科婦人科医会報

(第 70 号 平成21年5月)

千葉県産科婦人科医会

日本産婦人科医会
日本産科婦人科学会

千葉県支部
千葉地方部会

CONTENTS

<巻頭言>

再任挨拶	支部長	十河 正寛1
就任挨拶	会長	生水真紀夫2
就任挨拶	副支部長	諏訪部 博3

<臨時・定例総会報告、ほか>

支部・地方部会臨時総会（役員選挙、代議員選出規程改程）	河西十九三4
日産婦学会代議員選出について	8
支部・地方部会定例総会	9

<会員の横顔>

産婦人科専門医を取得して	錦見 恭子34
	加来 博志35

<医会活動から>

平成20年度冬期学術集会について	東京歯科大学市川総合病院産婦人科 高松 潔36
------------------	-----------------------	---------

<各種報告（社会保険情勢）>

社会保険に関する諸問題	社会保険担当理事 畠谷 健38
-------------	---------------	---------

<地区紹介>

印旛市郡・山武地区	印旛・山武地区代表委員 長岡 貞雄41
-----------	-------------------	---------

<県内病院紹介>

東京女子医科大学八千代医療センター	東京女子医科大学准教授 八千代医療センター母性胎児科科長 坂井 昌人42
-------------------	------------------------------------	---------

<役員会等報告>

平成20年度第3回定期役員会議事録	44
平成20年度第4回 日本産婦人科医会千葉県支部 定例役員会議事録	46
平成20年度第2回合同協議会議事録	47
平成20年度第5回定期役員会議事録	49
平成20年度第6回定期役員会議事録	51
平成20年度第3回合同協議会議事録	53

<事務局だより>

入退会異動状況	55
---------	--	---------

<編集後記>

57
--	---------

再任のご挨拶

日本産婦人科医会千葉県支部長 十河 正寛

1月の総会で再度ご推薦をいただき、本年4月より2年間、続けて日本産婦人科医会千葉県支部の支部長を務めさせていただくことになりました。

「車の両輪」と言われている日産婦医会千葉県支部と日産婦学会千葉地方部会を、一つの組織として認識し、この周産期医療の崩壊の危機を乗り越えるためにも一体となった運営を図ってまいりたいと思います。そのためには、従来の役員会、総会のほか、H P（ネット）、Mailを利用してご意見・ご質問などを医会の役員・地区代表・代議員の先生方ばかりではなく、会員の皆様からもお寄せいただき、千葉県産科婦人科医会の運営に反映させていきたいと思います。

この2年間は、法律に絡んだ問題が多かったようです。まず、看護婦の内診問題では、保助看法の解釈の問題でしたが、医師の監督下での分娩の補助と考えるという形で、現実的な解決をみました。次の大野病院事件の問題、これも医師法21条です。

その後も、産科補償制度、公費の妊婦健診、育児手当金の増額と次から次へと話題には事欠きません。医師不足による産科医療というか周産期医療の崩壊が現実に起こり、行政も認識を新たにしたようです。これが追い風となり改善の方向に向かいつつあると思われます。妊婦健診の補助の問題でも更なる公費負担の拡充を図り、無料化に向けてその実現に努めることで、妊婦さんの負担を減らし、受診回数の増加に繋がります。しかし検査項目の縛りが出てくるようです。出産育児手当一時金の増額に関しても、医療機関への直接の振込みの問題もメリット・デメリットといろいろ解決すべき問題もあります。また、診療報酬の改定により、保険請求できる検査なども増えましたが、分娩そのものが現金給付から現物給付の保険への移行という問題も浮上して来ているようです。産科医療補償の問題では、ほとんどの分娩医療機関のご加入を頂きましたが、運用に関しては、種々問題点があります。

このように、ここ何年かは次々といろいろな問題が生じて來ております。二次・三次の周産期医療を行う医療機関からの視点からだけではなく、一次の周産期医療を受け持つ有床診療所レベルの開業医の目から見て、現実を見極めていかなければならないと思います。底辺を支える医師が充分な、また安心して医療の行える環境作りが急がれます。

ゴールデンウィークに牡丹、石楠花を見に京都、奈良に行ってきました。東大寺境内で見かけた動物は馬とは言えません。鹿です。「鹿を指して馬と為す」では困ります。千葉県支部では、そのようなこともなくお互いの理解を深めながら会の運営を進めていきたいと考えております。一つの組織としてまとまっていく為にも、会員の諸先生のご協力を重ねてお願いし、医会の運営には、全力を投じて当たり、その責務を果していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

就任挨拶

日本産科婦人科学会千葉地方部会長 生 水 真紀夫

平成21年4月から、日本産科婦人科学会千葉地方部会長を務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いします。

この数年は産婦人科医療にとって厳しい時期でありました。しかしながら、千葉地方部会と致しましては、ホームページの整備・地方部会雑誌の発刊などの新たな事業や女性の健康週間市民公開講座の継続開催に取り組み、順調に成果を挙げてまいりました。河村堯会長・吉田幸洋会長の後を受けて会長職を務めるに当たり、両会長の路線をふまえ、引き続きこれらの事業の円滑な遂行に取り組んでまいりたいと思います。

さて、日本産科婦人科学会(本部)は、公益法人法制度の改革に伴い公益社団への移行を目指すことになりました。このため、日本産科婦人科学会地方部会はその名称を含め、大きく位置づけ(在り方)などを変更しなければなりません。本年度は、主として本部の移行作業が進むものと思います。その後は地方部会の移行作業を本部からの指示に従って暫時進めていくことになると思います。これは、日本産婦人科医会とともに活動している多くの地方部会の現状をふまえ、これを継続することを前提としたものであります。千葉地方部会としても、現状の活動形態を当面継続する方向で、対応してまいりたいと思っています。約款・名称・選挙制度などの多くの変更が必要です。紛らわしい点や煩わしい点など多々あろうかと思いますが、会員の皆様方にはご理解とご協力をよろしくお願いします。

また、会員数の増加にも努めてまいりたいと思います。若い研修医が産婦人科を選択してくれるよう、産婦人科臨床の魅力を伝えるとともに、学問としての産婦人科学のおもしろさも伝えて行きたいと思います。来年度は、再び初期研修制度が変更されます。過疎地と都市部の両方を抱える千葉県としての特徴を活かし、バランスのとれた研修システムの整備について県全体で話し合える場が作れるといよいよと思っています。また、産婦人科医会とともに労働環境の整備にも努めてまいります。女性と子供の健康を守る大切な仕事です。次の世代に無事にバトンを渡せるようにしましょう。

就任挨拶

日本産婦人科医会千葉県支部副支部長 謙訪部 博

今期も副支部長として、医会の運営に尽くすつもりです。前期までは、経理も担当しておりましたが、今期は、他の理事にお願い致しました。会員の高齢化、新人会員の入会減のため、医会の収入は減少の傾向にあります。会費値上げを避ける為、無駄と思われる経費の削減に努めたいと思っております。会員の先生方のご協力をお願いいたします。

また、医会は、産婦人科開業医の集まりと思っております。産婦人科開業医の義務とともに権利を守るよう努めてゆきます。

日本産婦人科医会千葉県支部・ 日本産科婦人科学会千葉地方部会臨時総会報告

日本産婦人科医会千葉県支部

平成20年度 臨時総会 次第

日 時：平成21年1月10日（土）午後3時

場 所：千葉県医師会 会議室

1. 開 会
2. 氏名点呼・議事録署名人選出
3. 挨 拶
4. 議 件

第1号 役員選挙の件

- | | |
|------------|------|
| (1) 支 部 長 | 1 名 |
| (2) 副支 部 長 | 2 名 |
| (3) 理 事 | 11 名 |
| (4) 監 事 | 2 名 |

5. 閉 会

日本産科婦人科学会千葉地方部会

平成20年度 臨時総会 次第

1. 開 会
2. 氏名点呼・議事録署名人選出
3. 挨 拶
4. 議 件

第1号 役員選挙の件

- | | |
|----------|------|
| (1) 会 長 | 1 名 |
| (2) 副会 長 | 1 名 |
| (3) 理 事 | 11 名 |
| (4) 監 事 | 2 名 |

第2号 日本産科婦人科学会代議員選出規程改正の件

5. 閉 会

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

議件第1号

日本産婦人科医会千葉県支部・日本産科婦人科学会千葉地方部会

臨時総会（1月10日開催）選出役員

次期日本産婦人科医会千葉県支部 役員名簿

※五十音順

任期 平成21年4月1日～平成23年3月31日

区分	氏名	地 区	所 属 施 設 名
支部長	十 河 正 寛	船 橋 鎌 ケ 谷	十河産婦人科医院
副支部長	諏訪部 博	千 葉	諏訪部産婦人科
			(次回総会で指名)
理 事	大 川 浩 司	松 戸 流 山	大川病院
	大 高 究	市 川 浦 安	大高医院
	河 西 十九三	千 葉	ちば県民保健予防財団
	金 田 幸 枝	船 橋 鎌 ケ 谷	さちレディースクリニック
	神 谷 直 樹	柏	柏クリニック
	坂 井 昌 人	八 千 代	東京女子医科大学附属八千代医療センター
	佐 野 慎 一	市 川 浦 安	佐野産婦人科医院
	鈴 木 真	安 房 君 津 木 更 津	亀田総合病院
	高 松 潔	市 川 浦 安	東京歯科大学市川総合病院
	水 谷 敏 郎	船 橋 鎌 ケ 谷	みきレディースクリニック
	梁 善 光	長 生 夷 隅 市 原	帝京大学ちば総合医療センター
監 事	井 橋 力	東 総	井橋医院
	林 晴 男	安 房 君 津 木 更 津	薬丸病院

次期日本産科婦人科学会千葉地方部会 役員名簿

任期 平成21年4月1日～平成23年3月31日

区分	氏名	地 区	所 属 施 設 名
会 長	生 水 真 紀 夫	千 葉	千葉大学医学部附属病院
副 会 長	吉 田 幸 洋	市 川 浦 安	順天堂大学医学部附属浦安病院
理 事	大 川 玲 子	千 葉	国立病院機構千葉医療センター
	大 高 究	市 川 浦 安	大高医院
	河 西 十九三	千 葉	ちば県民保健予防財団
	金 田 幸 枝	船 橋 鎌 ケ 谷	さちレディースクリニック
	鴨 井 青 龍	印 塙 山 武	日本医科大学付属千葉北総病院
	木 下 俊 彦	印 塙 山 武	東邦大学医療センター佐倉病院
	鈴 木 真	安 房 君 津 木 更 津	亀田総合病院
	高 松 潔	市 川 浦 安	東京歯科大学市川総合病院
	野 島 美 知 夫	市 川 浦 安	順天堂大学浦安病院
	正 岡 直 樹	習 志 野 八 千 代	東京女子医科大学附属八千代医療センター
	松 本 玲 子	千 葉	千葉市立海浜病院
	梁 善 光	長 生 夷 隅 市 原	帝京大学ちば総合医療センター
監 事	井 橋 力	東 総	井橋医院
	林 晴 男	安 房 君 津 木 更 津	薬丸病院

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

議件第2号

日本産科婦人科学会千葉地方部会における 社団法人日本産科婦人科学会代議員選出規程

第1章 総 則

- 第1条 本規定は、日本産科婦人科学会千葉地方部会会則第18条にもとづき、本会における社団法人日本産科婦人科学会の代議員（以後学会代議員と略す）を選出するための方法を定めたものである。
- 第2条 本会は割り当てられた数の学会代議員を原則として会員の直接選挙によって選出するものとする。

第2章 学会代議員の任期

- 第3条 本規程で選出された学会代議員の任期は社団法人日本産科婦人科学会の定款に定められた任期とする。
2. 選出された学会代議員が何らかの理由で学会代議員でなくなった場合には、次点を順次繰り上げるが、その任期は前任者の残存期間とする。

第3章 選挙権・被選挙権

- 第4条 社団法人日本産科婦人科学会が学会代議員定数を確定する期日までに、その年度の日本産科婦人科学会・同関東連合地方部会・本会の会費を完納した会員は、選挙権を有する。

- 第5条 被選挙権の有権者は選挙が行われる前年3月31日において原則として満15年以上の社団法人日本産科婦人科学会会員であって、かつ選挙が行われる前年の9月30日（必着）までに会費が千葉地方部会の会計に入金された者とする。
2. 学会代議員は原則として就任する前年の12月31日に65歳未満であることが望ましい。

第4章 選挙管理委員会

- 第6条 選挙の管理は選挙管理委員会が行い、会長が支援する。
- 第7条 選挙管理委員会の委員は、会員の中から、会長が若干名委嘱する。
2. 選挙管理委員会の委員長は、委員のなかから互選する。
3. 委員の委嘱並びに委員長の選出は、選挙の行われる年の前年の10月末日までに行わなければならない。
4. 委員および委員長の任期は2年とする。但し再任は妨げない。
5. 選挙管理委員会の業務に関する事項は、別に定める。

第5章 選挙方法

- 第8条 選挙は千葉県を全県一区として行う。
- 第9条 選挙は立候補制とし、被選挙権を有する有権者へ書面で立候補を募るものとする。
- 第10条 立候補する会員は、定められた期日までに候補者となる旨を、推薦人2名を添え、所定の書式により選挙管理委員会あてに文書で申し出るものとする。
2. 選挙管理委員会委員が立候補する場合は選挙管理委員を辞退しなければならない。
- 第11条 投票は選挙管理委員会によって定められた数を連記し、無記名で行う。
2. 投票は投票用紙に自書し、投票期日までに到着するよう郵送しなければならない。
- 第12条 得票数の多い順に当選とする。同数の場合には年長者順とする。
2. 有効票の取扱は選挙管理委員会の内規に定める。

第6章 選挙管理業務

第13条 選挙管理委員会は、社団法人日本産科婦人科学会から学会代議員選任依頼を受けた場合には速やかに選出作業を開始しなければならない。

2. 選挙管理委員会は有権者に対して、文書により選挙を実施することを公示し、同時に候補者の一覧と投票用紙を送付し、さらに投票方法と投票期日および開票日とその場所を通知する。

3. 投票は郵便によって行う。

4. 選挙管理委員会は、投票が終了したち速やかに開票を行わなければならぬ。

5. 開票作業は公開し、希望する会員は立ち合うことができる。

第14条 選挙管理委員会は開票終了後直ちにその結果を確認し、会長に結果を通知する。

2. 会長は結果を社団法人日本産科婦人科学会に速やかに報告する。

第15条 会長は選挙の結果と選任された学会代議員の氏名を日本産科婦人科学会千葉地方部会雑誌等を通じて公示する。

第16条 選挙管理委員会は選出作業の経緯と選挙結果を記録し、その記録を少なくとも2年間は保存する。

第7章 規程の変更

第17条 本規程は本会理事会において出席者の過半数の賛成と総会での承認を得て変更することができる。

第8章 附 則

第18条 本規程に定められていない事項、予測できなかつた事態が発生した場合の取扱は選挙管理委員会が協議して決定する。

2. 前項の決定は直後に開催される理事会に報告し承認を得るものとする。

第19条 本規程は平成21年1月10日より実施する。

日本産科婦人科学会千葉地方部会における 日本産科婦人科学会代議員選出選挙について

日本産科婦人科学会千葉地方部会選挙管理委員会
委員長 河 西 十九三

日本産科婦人科学会千葉地方部会における日本産科婦人科学会代議員選出選挙について、去る1月29日に開票を行い、下記のとおり選出いたしましたので、ご報告いたします。

平成21年1月30日

記 日本産科婦人科学会 代議員

任期 H21.4～H23.3.31
(五十音順)

氏名	所属施設名
伊澤 美彦	国保松戸市立病院
宇田川 秀雄	国保旭中央病院
大川 玲子	国立病院機構千葉医療センター
長田 久夫	千葉大学医学部附属病院
鴨井 青龍	日本医科大学千葉北総病院
木下 俊彦	東邦大学医療センター佐倉病院
坂井 昌人	東京女子医科大学附属八千代医療センター
佐々木 寛	東京慈恵会医科大学附属柏病院
清水 幸子	亀田総合病院
生水 真紀夫	千葉大学大学院医学研究院
高松 潔	東京歯科大学市川総合病院
松井 英雄	成田赤十字病院
吉田 幸洋	順天堂大学医学部附属浦安病院
梁 善光	帝京大学ちば総合医療センター

次点	高野 浩邦	東京慈恵会医科大学附属柏病院
----	-------	----------------

日本産婦人科医会千葉県支部・ 日本産科婦人科学会千葉地方部会定例総会報告

平成21年度定例総会・学術講演会 次第

日 時：平成21年5月16日（土）午後3時～

場 所：千葉県医師会 大会議室

日 程：1. 総 会 (15:00～)

- (1) 開 会
- (2) 仮議長選出・議事録署名人選出
- (3) 氏名点呼・議事録署名人選出
- (4) 議 件
 - 議長・副議長選出
- (5) 挨 捶
 - 日本産婦人科医会千葉県支部長 十河 正寛
 - 日本産科婦人科学会千葉地方部会長 生水真紀夫
- (6) 物故会員に黙祷
- (7) 水子の靈に黙祷
- (8) 報 告 平成20年度事業報告について
- (9) 議 事
 - 第1号議案 平成20年度収支決算承認を求める件
 - 第2号議案 平成21年度事業計画に関する件
 - 第3号議案 平成21年度収支予算に関する件
 - 第4号議案 日本産婦人科医会千葉県支部支部長指名理事及び日本産科婦人科学会千葉地方部会会長指名理事の承認に関する件
- (10) 顧問委嘱の件
- (11) 閉 会 (16:00)

2. 母体保護法講習

社会保険講習

3. 特別講演 (16:30)

座長：日本産科婦人科学会千葉地方部会長 生水真紀夫

「産科医療バースペクティブ」

講師：東京大学大学院医学系研究科生殖発達加齢医学専攻

産婦人科学講座 教授 上妻 志郎 先生

4. 懇 親 会 (18:15頃～)

ホテルポートプラザちば2Fパール

平成20年度事業報告

母体保護法指定医師 277名
 日産婦医会会員 389名
 日産婦学会会員 556名
 日産婦学会専門医 402名

(H21.1.1現在)

日付	内 容	場 所
4月12日	日産婦学会第60回学術講演会に出席(~15日)	横浜市
4月17日	経理監査を実施	ホテルポートプラザちば
4月14日	日産婦学会地方部会長会議に出席	パシフィコ横浜
4月25日	第1回役員会(医・学)を開催	県医師会会議室
5月10日	日産婦関プロ幹事会に出席	東京産婦人科医会会議室
5月18日	日産婦医会全国医療保険担当者連絡会に出席	都市センターホテル
5月24日	定例総会を開催	県医師会大会議室
6月 6日	日産婦学会専門医審査千葉県委員会を開催 日産婦医会関プロ支部長会に出席 日産婦医会関プロ役員会に出席	ホテルポートプラザ千葉 シェーンバッハ・サボー3F シェーンバッハ・サボー3F
6月14日	日産婦学会関東連合地方部会理事会に出席	ホテルニューオータニ
6月15日	日産婦関東連合地方部会総会に出席	都市センターホテル
6月19日	支部・地方部会合同研修会を開催	幕張
6月22日	日産婦学会専門医制度委員会全国地方委員会委員長会議に出席	弘済会館
6月27日	全国支部産科医療補償制度推進担当者連絡会に出席 第2回役員会(医・学)を開催 支部社保委員会を開催	日医会館 県医師会会議室 ホテルポートプラザちば
6月29日	日産婦医会第66回通常総会に出席	京王プラザホテル
7月 3日	県医母体保護指定医師指定審査委員会に出席	県医師会図書室
7月 4日	支部医療安全委員会を開催	ホテルポートプラザちば
7月 5日	日産婦医会関プロ社保委員会に出席	東京産婦人科医会会議室
7月 6日	日産婦医会第36回全国支部献金担当者連絡会に出席	京王プラザホテル
7月21日	日産婦医会全国支部医療安全担当者連絡会に出席	京王プラザホテル
7月25日	第1回合同協議会を開催	県医師会会議室
	産科医療補償制度説明会を開催	県医師会会議室
7月27日	日産婦学会専門医試験(二次試験)に出席	都内
8月19日	支部社保委員会を開催	ホテルポートプラザちば
8月28日	支部医療安全委員会を開催	ホテルポートプラザちば
9月14日	日産婦医会関プロ協議会に出席 日産婦医会関プロ支部長会に出席 関プロ周産期救急医療実態調査委員会に出席 日産婦医会関プロ協議会に出席	山梨県 古屋名ホテル(山梨) 古屋名ホテル(山梨) 古屋名ホテル(山梨)
9月21日	日産婦医会第24回全国支部がん担当者連絡会に出席	都内

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

日付	内 容	場所
9月25日	日産婦医会千葉県支部第2回産科医療補償制度説明会を開催	ホテルポートプラザちば
9月26日	第3回役員会(医・学)を開催	県医師会会議室
9月28日	日産婦医会全国支部長会に出席	京王プラザホテル
10月11日	第35回日本産婦人科医会学術集会に出席	福井市(12日まで)
10月16日	千葉県看護協会「助産師のつどい」に出席 県医母体保護指定医師指定審査委員会に出席	千葉市ハーモニープラザ 県医
11月9日	日産婦医会関プロ支部長会に出席 日産婦医会関プロ社保委員会に出席 日産婦医会関プロ社保協議会に出席	ラフレさいたま ラフレさいたま ラフレさいたま
11月15日	秋季学術集会を開催	ホテルポートプラザちば
11月20日	日産婦医会関プロ幹事会に出席	東京産婦人科医会会議室
11月28日	日産婦学会代議員選出規程改正に関するワーキングを開催	ホテルポートプラザちば
11月29日	第2回合同協議会を開催	県医師会会議室
11月30日	日産婦関東連合地方部会に出席 日産婦学会関東連合地方部会理事会に出席 日産婦学会関東連合地方部会総会に出席	栃木県総合文化センター 栃木県総合文化センター 栃木県総合文化センター
12月6日	日本医師会平成20年度家族計画・母体保護法指導者講習会に出席	日医会館
12月23日	日産婦医会関プロ広報委員会に出席 日産婦学会産婦人科診療ガイドライン指導者講習会に出席	東京産婦人科医会会議室 学術総合センター(都内)
1月10日	支部・地方部会臨時総会を開催	千葉県医師会会議室
1月22日	千葉県市町村会との妊婦健診の打ち合わせ	船橋中央保健センター
1月23日	第5回役員会(医・学)を開催	県医師会会議室
1月29日	女性の健康週間市民公開講座打合せ会を開催	ホテルポートプラザちば
1月31日	日産婦学会代議員選挙 開票 地方部会冬期学術講演会を開催 日産婦学会臨時地方部会長会に出席	ホテルポートプラザちば 県医師会大会議室 弘済会館(都内)
2月5日	支部医療安全委員会を開催	ホテルポートプラザちば
2月9日	千葉県市町村会との妊婦健診の打ち合わせ	船橋中央保健センター
2月14日	日産婦医会関プロ幹事会に出席	東京産婦人科医会会議室
2月19日	日産婦医会関プロ広報委員会に出席	東京産婦人科医会会議室
2月21日	第9回性教育セミナーを開催 周産期委員会を開催	千葉市生涯学習センター大研修室 東京女子医科大学
2月24日	千葉県市町村会との妊婦健診打ち合わせ	八千代医療センター会議室
2月26日	県医母体保護指定医師指定審査委員会に出席	船橋中央保健センター
2月27日	第6回役員会(医・学)を開催 国公立・大学病院等産婦人科医長懇談会を開催	県医師会会議室 京成ホテルミラマーレ 京成ホテルミラマーレ
3月7日	女性の健康週間市民公開講座を開催 日産婦医会関プロ支部長会に出席	千葉市文化センター 東商スカイルーム
3月22日	日産婦医会関プロ役員会に出席	東商スカイルーム
3月27日	日産婦医会第67回通常総会に出席 第3回合同協議会を開催	京王プラザホテル 県医師会会議室

平成20年度事業報告

【総務部】（支部：正・河西理事、副・神谷理事）

（地方部会：野島理事、佐野理事）

（1）各種会議の開催

- ・ 定例総会、臨時総会
- ・ 定例役員会
- ・ 合同協議会等

（2）会員福祉

- ・ 慶弔ならびに傷病等
- ・ 災害見舞金等

（3）千葉県医師会母体保護法指定医関係への協力

- ・ 指定医師指定審査委員会へ出席
- ・ 中絶報告書点検

（4）関東ブロック協議会参加

- ・ 関東ブロック社保協議会に出席

【経理部】（支部：正・諫訪部副支部長、副・大川玲理事・大川浩理事）

（地方部会：佐々木理事、河西理事、窪谷理事）

（1）年会費の徴収

- （2）関係団体への送金
- （3）平成19年度決算の作成
- （4）平成20年度予算の作成
- （5）役員・委員の旅費日当、委員会費用等の検討
- （6）会計事務の外部委託

【広報・中央情報部】（支部：正・高松理事、神谷理事 副：鈴木康理事）

（地方部会：鴨井理事）

- （1）千葉県産科婦人科医会ホームページのリニューアル及び管理・運営
- （2）千葉県産科婦人科医会報の編集、発行（年2回）
- （3）日産婦医会関東ブロック会広報委員会へ出席（年2回）
- （4）日産婦医会関東ブロック会報の編集、発行

【医事紛争部】（支部：正・佐野理事、副・鈴木真理事）

- （1）産科医療補償制度に会員の理解と協力を求めて、説明会を2回開催した
- （2）支部医療安全委員会を3回開催した
- （3）産科医療補償制度の検討とアンケートを実施した
- （4）全国支部産科医療補償制度推進担当者連絡会及び日本産婦人科医会全国支部安全委員会に出席した
- （5）産婦人科二次救急の検討

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

【医療対策部】（支部：正・金田理事、副・窪谷理事）

- (1) 妊婦健康診査公費負担改定についての市長会との交渉
- (2) オープンシステム・セミオープンシステム調査の実施
- (3) 未受診妊婦の実態把握のための調査

【社会保険部】（支部：正・窪谷理事、副・金田理事）

- (1) 会員に医会報により隨時、保険診療の運用上の留意点、保険給付以外の問題点などを報告・伝達
- (2) 全国支部医療保険担当者連絡会出席（5月18日・東京）
- (3) 関東ブロック社保委員会へ出席（7月5日・東京、11月9日・埼玉）
- (4) 関東ブロック社保協議会へ出席（11月9日・埼玉）
- (5) 支部・地方部会秋季研修会にて保険伝達講習会を行った
(11月15日・ホテルポートプラザちば)
- (6) 千葉県支部社保委員会の開催（2回）
- (7) 県医師会保険医療研究会に出席。「'08保険診療のしおり」—平成20年改定について—発刊

【がん対策部】（支部：正・佐々木理事、副・河西理事）

- (1) がん診療拠点病院でがん登録が行われた。

【学術・研修部】（支部：正・木下理事、水谷理事、副・高松理事）

（地方部会：梁理事、鈴木康理事）

- (1) 平成20年度日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会総会
(H20.5.24 千葉県医師会大会議室 出席者数 120名)
特別講演 体腔鏡（腹腔鏡・後腹腔鏡）を用いた婦人科疾患へのアプローチ
—— 子宮全摘～悪性腫瘍手術まで ——
倉敷成人病センター産婦人科部長 安藤 正明 先生
- (2) 平成20年度日産婦学会千葉地方部会・日産婦医会千葉県支部合同研修会
(H20.6.19 APAホテル& RESORT 東京ベイ幕張 出席者数145名)
持田シーメンスメディカルシステム 共催
1) 超音波胎児スクリーニング法 昭和大学医学部産婦人科講師 市塚 清健 先生
2) 婦人科非腫瘍性疾患の超音波診断と治療のポイント 社会保険中央総合病院副院長 小林 浩一 先生
- (3) 平成20年度日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会秋季学術研修会
(H20.11.15 ホテルポートプラザちば 出席者数: 80名)
平成20年度研修テーマ
1) 乳房疾患「乳癌の診断と治療」 帝京大学ちば総合医療センター外科准教授 鈴木 正人 先生
2) 合併症妊娠の管理 千葉大学医学部産婦人科助教 尾本 晓子 先生
千葉市立青葉病院産婦人科医長 西脇 哲二 先生

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

- (4) 日産婦学会千葉地方部会平成20年度冬期学術研修会
(H21.1.31 千葉県医師会大会議室 出席者数 126名)
担当 東京歯科大学市川総合病院産婦人科
一般演題 21題
特別講演 (共催 グラクソ・スミスクライン株式会社)
「子宮頸癌予防— 検診の精度管理向上のための細胞診報告様式改定とHPV」
自治医科大学附属さいたま医療センター産科婦人科教授 今野 良 先生
- (5) 平成20年度「女性の健康週間」市民公開講座
「知っていますか？卵巣のはたらきとその病気」
(H21.3.7 千葉市文化センター 出席者数158名)
講演 ①お教えしますー、卵巣の役割とホルモン異常
さちレディースクリニック 金田 幸枝 先生
②あなたの卵巣は大丈夫？ 卵巣のう腫のチェックと治療
帝京大学ちはば総合医療センター産科婦人科教授 梁 善光 先生
③卵巣がんをぶっ飛ばせ!!
千葉県がんセンター婦人科部長 田中 尚武 先生
- (6) 純毛性腫瘍登録制度の継続
- (7) 千葉地方部会誌第2巻 1号・2号の発刊

〔地方部会専門医制度〕 (吉田幸洋・木下俊彦)
日産婦学会産婦人科専門医の研修および登録
平成20年度日産婦学会専門医認定一次審査会
日産婦学会専門医制度委員会出席(H20.7.28 東京)

【勤務医部】 (支部：正・鈴木康理事、副・佐々木理事)
(1) 第24回平成20年度県立・国公立・大学病院等産婦人科医長との懇談会を開催 (2/27)

【女性保健部(性教育)・献金】 (支部：正・大川玲理事、大川浩理事・副・木下理事、佐野理事)
(1) 第6回千葉県STI研究会学術集会 後援 (6月21日)
(2) 第3回千葉県性感染症実態調査 (厚生労働省小野寺班研究事業)
(9月1日～30日)への協力
(3) 第9回性教育セミナー開催 (2月19日、千葉市生涯学習センター大研修室)
テーマ：インターネットの診断と治療
講師 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 菅沼信彦
国立病院機構千葉医療センター産婦人科 大川玲子
(4) 千葉県男女共同参画懇話会委員として千葉県行政に協力
(5) 献金促進事業
(6) おぎやー献金施設配分補助金 贈呈式を開催
(5月24日千葉県医師会会議室 聖母療育園)
(地方部会)

女性の継続的就労支援に関する委員会
【H20年度事業報告】 地方部会としての事業はありません

【母子保健部（周産期）】（支部：正・鈴木真理事、副・水谷理事）

（地方部会：清水理事）

- (1) 周産期医療ネットワーク事業
- (2) 周産期委員会
- (3) 妊産婦救急搬送における救急本部との連携体制の確立
(継続、県へWG設置要望した(口頭))
- (4) ICT利活用による地域診療情報共有推進事業(継続)

内 容：

- (1) 周産期医療ネットワーク事業
 - (ア) 平成20年3月末 開始事前説明会
 - (イ) 平成20年6月 コーディネーター事業開始
- (2) 周産期委員会開催(平成21年2月21日)
 - (ア) 千葉県周産期医療ネットワーク事業報告
 - (イ) 各施設の現状報告
 - (ウ) 遠隔胎児診断支援システムについて検討

現状として遠隔診断支援は行わず、診断可能病院への紹介方法、疾患に応じた千葉県での新生児疾患の受け入れ方法(受け入れ可能施設)について会員に広報することとした。

- (エ) ネットワークに母体救命疾患を受け入れている船橋市立医療センターを追加することを提案し、了承された。
- (3) 妊産婦救急搬送における救急本部との連携体制の確立(継続)
県へWG設置を要望した(口頭)が、現在のところ実施されていない。
- (4) ICT利活用による地域診療情報共有推進事業(継続)
一部要望のあった先生方へは説明を行ったが、普及には至っていない。

損 益 計 算 書

自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日

(単位 円)

科 目	金 額	
【売 上 高】		
支部・地方部会会費	13,455,000	
交 付 金	1,698,059	15,153,059
売上総利益金額		15,153,059
【販売費及び一般管理費】		17,492,637
営業損失金額		△2,339,578
【営 業 外 収 益】		
雜 収 入		2,576,321
経常利益金額		236,743
税引前当期純利益金額		236,743
当期純利益金額		236,743

販売費及び一般管理費

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

(単位 円)

科 目	金 額
事務委託費	4,725,000
事務所使用費	877,040
事務費	2,431,631
会議費	2,009,032
総会・学術集会費	2,825,444
総務部	178,126
経理部	60,204
広報部	478,800
中央情報部	644,700
福祉慶弔費	40,000
医事紛争部	448,790
医療対策部	48,420
社会保険部	149,407
研修部	1,624,438
学術部	355,845
勤務医部	388,560
調査研究費	55,000
母子保健(周産期)	152,200
合 計	17,492,637

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

第1回臨時総会開催報告
（会員登録料等の回収送付状況）

本部会費等回収送付状況		(単位 円)
医 会 本 部 会 費		11,722,000
医 会 関 東 ブ ロ ッ ク 会 費		565,500
学 会 本 部 会 費		8,905,000
学 会 本 部 入 会 金		15,000
関 東 連 合 会 費		2,375,000
専 門 医 審 査 会 費		660,000
お ぎ や 一 献 金		582,448
合 计		24,824,948

雑 収 入 の 内 訳		(単位 円)
公 開 講 座 寄 附 金		970,000
広 告 料		860,000
懇 親 会 費		395,000
補 助 金		161,000
預 金 利 子		83,641
そ の 他		106,680
合 计		2,576,321

平成20年度日産婦医会・日産婦学会 本部等収支決算

収入の部	会員構成		H20. 1. 1. 現在	
	自 H20.4. 1. 至 H21.3.31.		日産婦医会会員：403	日産婦医会：正341・免除55・準7 指定医293
		日産婦学会会員：535	日産婦学会：一般474・高齢61 専門医407	
I. 本部等会費（入会金を含む）	H20年度予算額 24,844,500	H20年度決算額 24,242,500	比較、 増(+)/減(-) 602,000	適要
(1) 日産婦医会会費	12,858,500	12,287,500	571,000	
①日産婦医会本部	12,344,000	11,722,000	622,000	
②日産婦医会関プロ	514,500	565,500	-51,000	
(2) 日産婦学会会費	11,286,000	11,295,000	-9,000	
①日産婦学会本部	8,891,000	8,905,000	-14,000	
②日産婦学会本部入会金	10,000	15,000	-5,000	
③関東連合	2,385,000	2,375,000	10,000	
(3) 専門医審査料	700,000	660,000	40,000	

支出の部

科 目	H20年度予算額	H20年度決算額	比較、 増(+)/減(-)	適 要
I. 納付金	24,844,500	24,242,500	602,000	
(1) 日産婦医会本部会費	12,344,000	11,722,000	622,000	
(2) 日産婦医会関プロ会費	514,500	565,500	-51,000	
(3) 日産婦学会本部会費	8,891,000	8,905,000	-14,000	
(4) 日産婦学会本部入会金	10,000	15,000	-5,000	
(5) 関東連合会費	2,385,000	2,375,000	10,000	
(6) 専門医審査料	700,000	660,000	40,000	

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

平成20年度日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会収支決算

収入の部	会員構成		H20. 1. 1. 現在				
	自 H20.4. 1. 至 H21.3.31.	日産婦医会会員：403 日産婦学会会員：535	日産婦医会：正341・免除55・準7 日産婦学会：一般474・高齢61		指定医293 専門医407		
	科 目	H20年度予算額	H20年度決算額	比較 増(+)減(-)	通 論 要		
I. 支部・地方部会会費 (入会金を含む)	12,542,000	13,455,000	- 913,000				
(1) 日産婦医会支部	8,676,000	9,570,000	- 894,000				
①医会支部会費	8,596,000	9,490,000	- 894,000				
②医会支部入会金	80,000	80,000	0	入会金 5,000 6 30,000 特別負担金 50,000 1 50,000			
(2) 日産婦学会地方部会	3,866,000	3,885,000	- 19,000				
①学会地方部会会費	3,816,000	3,840,000	- 24,000		8,000 480 3,840,000		
②学会地方部会入会金	50,000	45,000	5,000		5,000 9 45,000		
II. 交付金	1,420,000	1,698,059	- 278,059				
(1) 交付金	1,420,000	1,698,059	- 278,059		予算額	決算額	差額：増減
				県医師会 400,000 おぎやー献金還元金 30,000 おぎやー献金推進補助金 30,000 日産婦学会会費還元金 200,000 関連地会費還元金 100,000 医会会費還元金 300,000 医会関プロ還元金 10,000 医会研修会補助 50,000 学会市民公開講座 100,000 専門医審査運営補助金 200,000	501,500 55,504 30,000 257,000 116,750 340,320 14,985 50,000 111,000 221,000		- 101,500 - 25,504 0 - 57,000 - 16,750 - 40,320 - 4,985 0 - 11,000 - 21,000
III. 寄付金	1,000	0	1,000				
IV. 雜収入	1,500,000	2,576,321	- 1,076,321	利息・懇親会会費・広告料等			
小計	15,463,000	17,729,380	- 2,266,380				
V. 繰越金	0		0				
合計	15,463,000	17,729,380	- 2,266,380				

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

支出の部

科 目	20年度予算額	20年度決算額	此枚 増(+)減(-)	通 要	20年度予算額	20年度決算額
I. 事務費	9,425,000	8,033,671	1,391,329			
(1) 事務委託費	4,715,000	4,725,000	- 10,000	会計事務委託費含む		
(2) 事務所使用費	950,000	877,040	72,960			
(3) 事務費	3,760,000	2,431,631	1,328,369	① 通信費 ② 消耗品費 ③ 旅 費 ④ 印刷費 ⑤ 振込手数料 ⑥ 人件費	1,400,000 150,000 10,000 600,000 100,000 1,500,000	1,224,010 85,113 0 330,120 49,770 742,618
II. 会議費	4,110,000	2,009,032	2,100,968	(日当+旅費) × 人数 × 回数		
				① 役員会 7,000×35×10 ② 地区代表委員会 7,000×10×3 ③ 会議費 5,000×人數 ④ 代議員会 0 ⑤ 県外諸会議 1,000,000	2,450,000 210,000 450,000 0 1,000,000	1,117,580 172,020 397,982 0 321,450
III. 事業費	6,810,000	7,449,934	- 639,934			
(1) 総会・学術集会費	2,050,000	2,825,444	- 775,444	① 総会 ② 秋季研修会 ③ 冬期研修会 ④ 公開講座 ⑤ 性教育セミナー	600,000 400,000 600,000 300,000 150,000	458,942 418,100 600,000 1,205,128 143,274
(2) 総務部	230,000	178,126	51,874	① 庶務一般 ② 会員名簿発行費 ③ 法制 ④ 渉外 ⑤ あり方委員会 ⑥ 会則改正検討委員会	100,000 0 20,000 50,000 30,000 30,000	100,958 0 0 5,000 0 72,168
(3) 経理部	30,000	60,204	- 30,204			30,000
(4) 広報部	800,000	478,800	321,200			800,000
(5) 中央情報	800,000	644,700	155,300			800,000
(6) 福祉弔慰金	140,000	40,000	100,000			140,000
(7) 医事紛争部	180,000	448,790	- 268,790	① 医事紛争部 ② 医療安全対策	30,000 150,000	0 448,790
(8) 医療対策部	30,000	48,420	- 18,420			30,000
(9) 献金部	20,000	0	20,000			20,000
(10) 社会保険部	150,000	149,407	593			150,000
(11) がん対策部	30,000	0	30,000			30,000
(12) 研修部	1,000,000	1,624,438	- 624,438	講演料（総会、秋季研修会） 地方部会雑誌	300,000 700,000	300,000 1,324,438
(13) 学術部	350,000	355,845	- 5,845	① 各種登録委員会 ② 功労、学術奨励費 ③ 同上、選考委員会費	200,000 100,000 50,000	200,000 100,000 55,845
(14) 勤務医部	400,000	388,560	11,440			400,000
(15) 調査研究費	100,000	55,000	45,000			100,000
(16) 母子保健(周産期)	400,000	152,200	247,800	周産期		400,000
(17) 女性保健部	100,000	0	100,000			100,000
IV. 積立金	0	0	0			
(1) 諸事業積立金	0	0				
V. 予備費	1,000,000	0	1,000,000			
小計	21,345,000	17,492,637	3,852,363			
VI. 次年度繰越金	0	236,743	- 236,743			
合計	21,345,000	17,729,380	3,615,620			

経理監査報告

平成20年度日本産婦人科医会千葉県支部および日本産科婦人科学会千葉地方部会の収支決算について慎重監査したところ、適正妥当であることを認めます。

平成21年4月22日

日本産婦人科医会千葉県支部長 十河 正寛 殿
日本産科婦人科学会千葉地方部会長 生水真紀夫 殿

日本産婦人科医会千葉県支部
日本産科婦人科学会千葉地方部会

監事 林 晴男 印
監事 井橋 力 印

平成21年度事業計画

【総務部】

- (1) 各種会議の開催
 - ・定例総会、代議員会
 - ・定例役員会
 - ・合同協議会等
 - ・臨時総会
- (2) 会員福祉（慶弔ならびに傷病・災害見舞金等）
- (3) 千葉県医師会母体保護法指定医師指定関係への協力
 - ・千葉県医師会母体保護法指定医師指定審査委員会に出席
 - ・中絶報告書の点検
- (4) 関東ブロック協議会、全国学術集会に参加
- (5) 会員名簿の発行
- (6) 学会のあり方検討委員会の開催
- (7) その他

【経理部】

- (1) 年会費の徴収
- (2) 関係団体への送金
- (3) 平成20年度決算の作成
- (4) 平成21年度予算の作成
- (5) 役員・委員の旅費日当、委員会費用等の検討
- (6) 会費体系等の検討
- (7) 歳入減に伴う歳出の検討
- (8) その他

【広報・中央情報部】

- (1) 千葉県産科婦人科医会報の編集、発行（年2回）
- (2) 千葉県産科婦人科医会ホームページの管理・運営、ホームページの内容の充実と活用に努める
- (3) その他

【医事紛争部】

- (1) 産科医療補償制度推進への協力と報告
- (2) 医療安全委員会の開催
 - ・産婦人科救急の充実と伝達
 - ・産科医療補償制度に関する協議
- (3) 日本産婦人科医会全国支部医療安全担当者連絡会の出席と報告
- (4) その他

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

【医療対策部】

- (1) 産婦人科医業経営健全化についての検討
- (2) 妊婦健康診査公費負担拡充に向けて交渉の継続
- (3) 未受診妊婦および救急搬送妊婦の取り扱いについての検討

【社会保険部】

- (1) 保険診療の運用上の留意点及び給付に関する問題点などについて研修会・医会報などにより会員に伝達
- (2) 千葉県支部社保委員会を開催し、保険給付以外の問題点および点数改定並びに通知・疑義解釈などの運用上の留意点などの検討を行う
- (3) 日産婦医会社保部及び社保・国保の審査委員会との連携を密にして、診療運用上の統一を図る
- (4) 日産婦医会全国医療保険担当者連絡協議会の報告、伝達
- (5) 日産婦関東ブロック社保協議会（群馬）の報告、伝達
- (6) 千葉県医師会保険医療研究委員会への出席
- (7) その他

【がん対策部】

- (1) 受診率向上対策
県がん対策部会健診部門に協力し、昨年に引き続き若年者の子宮頸がん罹患率の増加をアピールして、20歳代のがん検診の受診率向上対策を検討する
- (2) 検診精度管理対策
「千葉県保健サービス評価専門委員会」子宮がん部会の再活動策の検討
- (3) 本部がん対策部の「検診に関する実態調査」に協力する
- (4) ちば県民保健予防財団との共同でベセスダシステムの導入（H21.4～）を行い、順次、県内の変更を行う
- (5) その他

【学術・研修部】

- (1) 平成21年度の研修テーマの研修
 - 母体保護法に関する諸問題
 - 会員研修ノート
 - 分娩周辺期の救急
 - 妊娠性を温存する婦人科治療—温存を求められた場合の情報提供
 - 性器脱・尿失禁の治療
- (2) 平成21年度日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会総会
(H21.5.16千葉県医師会大会議室)
 - 特別講演 東京大学大学院医学系研究科生殖発達加齢医学専攻
 - 産婦人科学講座 教授 上妻 志郎 先生
- (3) 日本産科婦人科学会千葉地方部会雑誌発行
- (4) 平成21年度日産婦学会千葉地方部会・日産婦医会千葉県支部合同研修会の開催

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

- (5) 平成21年度日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会秋季学術研修会の開催
(担当: 北地区)
- (6) 日産婦学会千葉地方部会平成21年度冬期学術研修会の開催
(担当: 順天堂大学浦安病院)
- (7) 平成21年度「女性のための健康週間」市民公開講座の開催
- (8) 平成21年度日産婦学会千葉地方部会学術奨励賞の選考・授与
- (9) 縫毛性腫瘍登録制継続
- (10) その他

【地方部会専門医制度】

- (1) 平成21年度日産婦学会専門医認定一次審査
- (2) 日産婦学会専門医制度委員会出席

【勤務医部】

- (1) 第26回平成21年度県立・国公立・大学病院等産婦人科医長との懇談会の開催
- (2) 千葉県における勤務医の実態調査の実施
- (3) その他

【女性保健部・献金】

(支部)

- (1) 性犯罪対策、被害者支援システムの再構築
- (2) 千葉県性感染症調査
- (3) 第10回性教育セミナー 開催
- (4) 千葉県男女共同参画懇話会委員として千葉県行政に協力

(地方部会)

- (1) 日産婦本部の同委員会と連携した事業を行う (調査、対策)
- (2) 千葉県医師会女性部会と連携した事業を行う
(若手医師、医学生への働きかけなど)
- (3) 千葉県医師バンク事業への意見、協力
- (4) 女性勤務医の連絡会を検討する

・ 献金促進事業の実施

【母子保健部(周産期)】

- (1) 千葉県周産期ネットワーク事業 (継続)
- (2) 周産期委員会の開催 (4回/年) (継続)
- (3) 妊産婦救急搬送における救急本部との連携体制の確立
(継続、県へWG設置要望した(口頭))
- (4) ICT利活用による地域診療情報共有推進事業 (継続)

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

(5) 産科ガイドライン講習会、NCPR講習会（新規）

(6) その他

内容：

- (1) 千葉県周産期ネットワーク事業（継続、一部新規）
 - (ア) コーディネーター事業
 - (イ) 母体搬送マニュアル作成事業
 - (ウ) 周産期医療関係者育成事業
 - (エ) 産科医療圏の検討および協力病院の拡大、再考
 - (オ) 受入れ困難症例の検討（新規）
- (2) 周産期委員会の開催（2・3回/年）（継続）
- (3) 妊産婦救急搬送における救急本部との連携体制の確立（継続、08年度未実施）
 - (ア) 救急搬送事例検討会の開催（2・3回/年）
 - (イ) 救急搬送マニュアル作成（上記事業に組み入れる）
- (4) ICT利活用による地域診療情報共有、診療支援事業（継続）
 - (ア) WEB型母体搬送システムの利活用
 - (イ) 周産期電子カルテの活用開始、会員への啓蒙、利用促進
- (5) 産科ガイドライン講習会、NCPR講習会（新規）
 - (ア) 産科ガイドライン講習会
 - ① 周産期医療関係者育成事業と協働して各地で行う
 - (イ) NCPR講習会
 - ① 千葉県周産期新生児研究会のメンバーが中心となって行っているものに対して継続的運営が可能となるように援助する。

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

平成21年度日産婦医会・日産婦学会 本部等收支予算

収入の部	会員構成		H21. 1. 1. 現在		
	自 H21.4. 1. 至 H22.3.31.		医会総会員 : 389	日産婦医会 : 正333・免除56・準5	指定医277
			学会総会員 : 556	日産婦学会 : 一般491・高齢65	専門医402
科 目	H21年度予算額	H20年度予算額	比較、 増(+)/減(-)	適 要	
I. 本部等会費(入会金を含む)	24,615,500	24,844,500	-229,000		
(1) 日産婦医会会費	12,418,500	12,858,500	-440,000		
①日産婦医会本部	11,916,000	12,344,000	-428,000	20年度 正会員 〃 準会員 21年度 正会員 〃 準会員 〃 減免会員	36,000 2 72,000 18,000 0 0 36,000 324 11,664,000 18,000 5 90,000 10,000 9 90,000
					小計 340 11,916,000
②日産婦医会関プロ	502,500	514,500	-12,000	20年度 21年度	1,500 2 3,000 1,500 333 499,500
					小計 335 502,500
(2) 日産婦学会会費	11,697,000	11,286,000	411,000		
①日産婦学会本部	9,217,000	8,891,000	326,000	20年度 21年度 21年度 減免会員	18,000 3 54,000 18,000 491 8,838,000 5,000 65 325,000
					小計 559 9,217,000
②日産婦学会本部入会金	10,000	10,000	0		1,000 10 10,000
③関東連合	2,470,000	2,385,000	85,000	20年度 21年度	5,000 3 15,000 5,000 491 2,455,000
					小計 494 2,470,000
(3) 日産婦学会専門医審査料	500,000	700,000	-200,000	21年度	10,000 30 300,000 40,000 5 200,000
					小計 35 500,000

支出の部

科 目	H21年度予算額	H20年度予算額	比較、 増(+)/減(-)	適 要
I. 納付金	24,615,500	24,844,500	-229,000	
(1) 日産婦医会本部会費	11,916,000	12,344,000	-428,000	
(2) 日産婦医会関プロ会費	502,500	514,500	-12,000	
(3) 日産婦学会本部会費	9,217,000	8,891,000	326,000	
(4) 日産婦学会本部入会金	10,000	10,000	0	
(5) 日産婦学会関東連合会費	2,470,000	2,385,000	85,000	
(6) 日産婦学会専門医審査料	500,000	700,000	-200,000	

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

平成21年度日産婦医会千葉県支部・日産婦学会千葉地方部会収支予算

収入の部	会員構成		H21. 1. 1. 現在		
	自 H21.4. 1. 至 H22.3.31.		日産婦医会会員：389	日産婦医会：正333・免除56・準5	指定医277
			日産婦学会会員：556	日産婦学会：一般491・高齢65	専門医402
科 目	H21年度予算額	H20年度予算額	比較、 増(+)減(-)	適	要
I. 支部・地方部会会費 (入会金を含む)	12,472,000	12,542,000	-70,000		
(1) 日産婦医会支部	8,470,000	8,676,000	-206,000	金額	人数
①医会支部会費	8,390,000	8,596,000	-206,000	20年度 正会員	25,000
				20年度 準会員	3,000
				21年度 正会員	25,000
				21年度 準会員	3,000
				小計	340
					8,390,000
②医会支部入会金	80,000	80,000	0	入会金	5,000
				特別負担金	50,000
(2) 日産婦学会地方部会	4,002,000	3,866,000	136,000		
①学会地方部会会費	3,952,000	3,816,000	136,000	18年度	8,000
				19年度	8,000
				小計	494
					3,928,000
②学会地方部会入会金	50,000	50,000	0		5,000
II. 交付金	1,420,000	1,420,000	0		10
(1) 交付金	1,420,000	1,420,000		21年度	20年度
					差額：増減
			県医師会	400,000	400,000
			おぎやー献金還元金	30,000	30,000
			おぎやー献金推進補助金	30,000	30,000
			日産婦学会会費還元金	200,000	200,000
			関連地会費還元金	100,000	100,000
			医会会費還元金	300,000	300,000
			医会関プロ還元金	10,000	10,000
			医会研修会補助金	50,000	50,000
			公開講座補助金	100,000	100,000
			専門医審査運営補助金	200,000	200,000
III. 寄付金	1,000	1,000	0		
IV. 雑収入	1,500,000	1,500,000	0	地方部会誌広告収入 他	
小 計	15,393,000	15,463,000	-70,000		
V. 繰越金	5,422,000	0	5,422,000		
合 計	20,815,000	15,463,000	5,352,000		

◆ 臨時・定例総会報告、ほか ◆

支出の部

科 目	21年度予算額	20年度予算額	比較 増(+)/減(-)	適 要	21年度予算額	20年度予算額	差 額
I. 事務費	8,775,000	9,425,000	- 650,000				
(1) 事務委託費	4,715,000	4,715,000	0	会計事務委託費含む	4,715,000	4,715,000	0
(2) 事務所使用費	950,000	950,000	0	630,000×1、250,000×10、70,000×1	950,000	950,000	
(3) 事務費	3,110,000	3,760,000	- 650,000	① 通信費 ② 消耗品費 ③ 旅 費 ④ 印刷費 ⑤ 振込・証明手数料 ⑥ 入件費	1,400,000 120,000 10,000 500,000 80,000 1,000,000	1,400,000 150,000 10,000 600,000 100,000 1,500,000	0 - 30,000 0 - 100,000 - 20,000 - 500,000
II. 会議費	3,630,000	4,110,000	- 480,000	平均経費(日当+旅費)*人数*回数			
				① 役員会 7,000×31×10 ② 地区代表委員会 7,000×10×3 ③ 会議費 5,000×35×2(例5,000円会食料) ④ 代議員会 ⑤ 県外諸会議	2,170,000 210,000 450,000 0 800,000	2,450,000 210,000 450,000 0 1,000,000	- 280,000 0 0 0 - 200,000
III. 事業費	7,410,000	6,810,000	600,000				
(1) 総会・学術集会費	1,950,000	2,050,000	- 100,000	① 総会 ② 秋季研修会 ③ 冬期研修会 ④ 公開講座 ⑤ 性教育セミナー	500,000 400,000 600,000 300,000 150,000	600,000 400,000 600,000 300,000 150,000	- 100,000 0 0 0 0
(2) 総務部	830,000	230,000	600,000	① 庶務一般 ② 会員名簿発行費 ③ 法 制 ④ 渉 外 ⑤ 地方部会あり方委員会 ⑥ 会則改正検討委員会	100,000 600,000 20,000 50,000 30,000 30,000	100,000 0 20,000 50,000 30,000 30,000	0 600,000 0 0 0 0
(3) 経理部	30,000	30,000	0		30,000	30,000	0
(4) 広報部	600,000	800,000	- 200,000		600,000	800,000	- 200,000
(5) 中央情報	500,000	800,000	- 300,000		500,000	800,000	- 300,000
(6) 福祉弔慰金	100,000	140,000	- 40,000		100,000	140,000	- 400,000
(7) 医事紛争部	250,000	180,000	70,000	① 医事紛争部 ② 医療安全対策	30,000 220,000	30,000 150,000	0 700,000
(8) 医療対策部	30,000	30,000	0		30,000	30,000	0
(9) 献金部	20,000	20,000	0		20,000	20,000	0
(10) 社会保険部	150,000	150,000	0		150,000	150,000	0
(11) がん対策部	30,000	30,000	0		30,000	30,000	0
(12) 研修部	1,300,000	1,000,000	300,000	講演料(総会・秋季研修会) 地方都会雑誌	300,000 1,000,000	300,000 700,000	0 300,000
(13) 学術部	350,000	350,000	0	① 各種登録委員会 ② 功労、学術奨励費 ③ 同上、選考委員会費	200,000 100,000 50,000	200,000 100,000 50,000	0 0 0
(14) 勤務医部	400,000	400,000	0		400,000	400,000	0
(15) 調査研究費	70,000	100,000	- 30,000		70,000	100,000	- 30,000
(16) 母子保健	700,000	400,000	300,000		700,000	400,000	300,000
(17) 女性保健部	100,000	100,000	0		100,000	100,000	0
IV. 積立金	0	0	0				
(1) 諸事業積立金	0	0	0				
V. 予備費	1,000,000	1,000,000	0				
小 計	20,815,000	21,345,000	- 530,000				
VI. 次年度繰越金	0	0	0				
合 計	20,815,000	21,345,000	- 530,000				

**日本産婦人科医会千葉県支部・日本産科婦人科学会千葉地方部会
役員名簿**

※五十音順

H21.5.16~H23.3.31

支部役職	地方部会役職	氏名	所属医療機関名	医療機関住所
支部長		十河 正寛	十河産婦人科医院	鎌ヶ谷市中央1-19-12
	会長	生水真紀夫	千葉大学医学部附属病院	千葉市中央区亥鼻1-8-1
副支部長		諏訪部 博	諏訪部産婦人科	千葉市花見川区幕張町6-97-6
	副会長	吉田 幸洋	順天堂大学医学部附属浦安病院	浦安市富岡2-1-1
副支部長	理事	佐々木 寛	東京慈恵会医科大学附属柏病院	柏市柏下163-1
理事		大川 浩司	大川病院	松戸市馬橋1902
	理事	大川 玲子	国立病院機構千葉医療センター	千葉市中央区椿森4-1-2
理事	理事	大高 究	大高医院	市川市真間3-10-8
理事	理事	長田 久夫	千葉大学医学部附属病院	千葉市中央区亥鼻1-8-1
理事	理事	河西十九三	ちば県民保健予防財団	千葉市美浜区新港32-14
理事	理事	金田 幸枝	さちレディースクリニック	船橋市印内町638-1
理事		神谷 直樹	柏クリニック	柏市柏2-2-4
	理事	鴨井 青龍	日本医科大学千葉北総病院	印旛郡印旛村鎌苅1715
	理事	木下 俊彦	東邦大学医療センター佐倉病院	佐倉市下志津564-1
理事		雀谷 健	雀谷産婦人科	柏市中央2-2-12
理事		坂井 昌人	東京女子医科大学八千代医療センター	八千代市大和田新田477-96
理事		佐野 慎一	佐野産婦人科医院	浦安市当代島1-3-22
理事	理事	鈴木 真	亀田総合病院	鴨川市東町929
理事	理事	高松 潔	東京歯科大学市川総合病院	市川市菅野5-11-13
	理事	野島美知夫	順天堂大学医学部附属浦安病院	浦安市富岡2-1-1
	理事	正岡 直樹	東京女子医科大学八千代医療センター	八千代市大和田新田477-96
	理事	松本 玲子	千葉市立海浜病院	千葉市美浜区磯辺3-31-1
理事		水谷 敏郎	みきレディースクリニックみもみ	船橋市習志野5-10-30
理事	理事	梁 善光	帝京大学ちば総合医療センター	市原市姉崎3426-3
監事	監事	井橋 力	井橋医院	匝瑳市八日市場イ2496
監事	監事	林 晴男	薬丸病院	木更津市富士見2-7-1
議長	議長	千本 英世	千本産婦人科	船橋市二和東5-57-5
副議長	副議長	吉岡 英征	吉岡産婦人科医院	市川市八幡5-7-22
顧問		吉田 之好	吉田医院	松戸市常盤平2-5
顧問		八田 賢明	ジュノ・ヴェスタクリニック八田	松戸市牧の原2-92
	顧問	河村 堯	武田産婦人科	印西市内野1・5・3

日本産婦人科医会千葉県支部・日本産科婦人科学会千葉地方部会
役員分掌

平成21年5月16日～平成23年3月31日

役職	氏名	支 部			地 方 部 会		医会学会の別	
		主 担 当	副 担 当	担当副 支部長	主 担 当	副担当	医会	学会
支 部 長	十河 正寛						○	—
地方部会長	生水真紀夫						—	○
副支部長	諫訪部 博						○	—
	佐々木 寛	がん対策			経理		○	○
副 会 長	吉田 幸洋				学会のあり方 委員会		—	○
理 事	大川 浩司	献金	広報	諫訪部			○	—
	大高 究	経理	医療対策	諫訪部		経理	○	○
	長田 久夫	勤務医	学術	佐々木		広報	○	○
	河西十九三	総務	がん対策	諫訪部	総務		○	○
	金田 幸枝	医療対策	医療安全	佐々木	社会保険委員会		○	○
	神谷 直樹	中央情勢	総務	諫訪部			○	—
	窪谷 健	社会保険	母子保健	佐々木			○	—
	坂井 昌人	女性保健	勤務医	佐々木			○	—
	佐野 慎一	医事紛争・ 医療安全	献金	諫訪部			○	—
	鈴木 真	母子保健	医事紛争・ 医療安全	諫訪部	周産期委員会		○	○
	高松 潔	広報	経理	佐々木	編集		○	○
	水谷 敏郎	研修	社会保険	諫訪部			○	—
	梁 善光	学術	女性保健	佐々木	学術		○	○
(地方部会)	大川 玲子	—			男女共同 参画委員会		—	○
	鴨井 青龍	—			広報		—	○
	木下 俊彦	—			専門医制度		—	○
	野島美知夫	—				総務	—	○
	正岡 直樹	—				編集	—	○
	松本 玲子	—				学術	—	○
監 事	林 晴男						○	○
	井橋 力						○	○

※支部役員、地方部会役員、五十音順

産婦人科専門医を取得して

千葉県がんセンター 錦見恭子

千葉県がんセンター婦人科の錦見恭子と申します。これまで多くの方にご指導いただきまして、2008年9月に産婦人科専門医を取得することができました。このたび「専門医を取得して」という原稿の依頼をいただきました。この機会をお借りして、がむしゃらに駆け抜けてきた6年間を振り返りたいと思います。

2003年に千葉大学医学部を卒業し、同医学部産婦人科教室に入局したのが私の医師人生のスタートになります。私たちの学年は現在の臨床研修医制度が始まる前の最後の年でしたので、自身の希望する科に直接進むことが可能でした。

そもそも産婦人科を志望したのは、医学部6年時の船橋医療センターにおけるクリニカルクラブークシップがきっかけとなります。部長の鈴木康伸先生を始め、皆さんに大変よく面倒をみていただきました。忙しい日常業務を行いながら、学生だった私と常に一緒に行動してくださいり、臨床現場を体験させてくださいました。帝王切開術に手洗いをして術野に入らせていただいたとき、胎児娩出後大きな子宮がみると収縮して小さくなっていく姿、そして柔らかかった子宮が急に硬くなっていく感触に驚き、「子宮とはなんてダイナミックな臓器なのだろう」と感動しました。産婦人科という厳しい労働環境の科で勤務していくけるのだろうかという不安はありました。やはりこのときの「感動」を忘れることができず、産婦人科医の道を選択しました。6年たった今もこの選択に決して後悔はしていません。むしろ充実感、達成感を生々と体験でき、私の選択はベストだったと思っています。

医師1年生は閑谷宗英教授率いる千葉大学医学部産婦人科教室で研修いたしました。ダイナミックな子宮を触ることができる「手術」に興味を持っていましたが、卵巣癌の手術を見て腹腔内・後腹膜腔の美しい解剖に感動し、腫瘍の道を目指したいと決意しました。

医師2~3年生は千葉医療センターにて研修いたしました。1人では点滴ライン刺しと包交のみしかできない状態で赴任したのですが、大川玲子部長のもと、手術・外来・分娩とたくさん経験させていただき、急に一人前になった気分で診療させていただきました。女性の臓器として一面的にとらえるのではなく、女性の人生全体をとらえて診療をおこなう全人的医療を学びました。

医師4~5年生は千葉市立青葉病院にて研修いたしました。岩崎秀昭部長をはじめ、皆さんがたくさんのチャンスを与えてくださいり、これまで学んできたことを活かして実践する場となりました。手術件数、分娩数が多く、知識・技術が頭だけでなく体にしみこんでいきました。高見澤裕吉名誉教授に直接手術の指導をしていただくという貴重な経験もさせていただきました。また病理組織診、細胞診を集中的に勉強する場にも恵まれました。学会発表の機会もたくさん与えていただきました。1000人規模の会場で発表するワークショップの演者の経験は、今後もおそらくないと思います。大変貴重な経験でした。

医師6年生は千葉県がんセンターにて研修させていただきました。田中尚武部長のもと、婦人科腫瘍の研修に専念できる環境においていただきました。専門病院として、今までに経験したことのないような症例、特に、かなり進行した癌を多数みさせていただきました。また臨床研究・治験の方法を学び、エビデンス確立の現場に触れることができました。そしてこの年に産婦人科専門医、細胞診指導医を取得することができました。産婦人科専門医を取得したことで、婦人科腫瘍専門医取得に向けた修練をスタートすることができました。

産婦人科専門医取得は決して私の力によるのではなく、たくさんのチャンスを与えてくださり指導してくださった先生方、私たちの無理難題をこころよく引き受けさせてくださった看護師さん・検査技師さん・病院スタッフの方々、そしてさまざまな現象を呈示してくれる患者さんのおかげです。そして、医師としての充実感、達成感、感動が自分自身を支えているのだと思います。私は産婦人科医師として幸せであります。

医師7年生として初心に戻り、好奇心・探求心を捨てることなく、よりよい医療が提供できるよう努力・改善を怠らず、患者さんにも医療スタッフにもやさしさを忘れずに、今後も診療していくたいと思います。これまでの6年間は長い医師人生のほんのスタートに過ぎません。これからも皆さんに育てていただくことになると思います。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

都賀レディースクリニック 加来 博志

近年、産婦人科をとりまく環境は大きく変化しています。医療訴訟を端とする産科医師不足、看護師内診問題、福島大野事件、救急搬送らいまわし事件、女性医師の労働環境問題、産科医療補償制度の開始など、時代の背景とともにめまぐるしく産婦人科環境も変化しています。情報化社会となり、患者さんのニーズも高くなり、医療者側の医療提供にも変化が必要とされています。最近では多くのメディアで産婦人科関連の問題が取り上げられ、世間一般まで問題は提起されています。しかし、今までの産婦人科関連問題の悪循環による産婦人科医療崩壊寸前の状況はすぐには良くなりません。現在はどこの施設でも医師不足を認め、現存の医師が何とか産科医療を維持しているような状況です。過重労働により体調を崩す医師も多くいます。自分も昨年体調を崩し約半年ほど療養しました。話に聞くだけでも体調を崩す医師はかなりいます。これからの中将来ある若い医師たちには、自己犠牲により体調を崩さないでほしいと思います。このような悪循環をなくすために労働環境の改善、医師のQOLの確保も重要な問題であります。しかし、これらの多くの問題は個人や病院レベルの対応では限界があり、国や社会がしっかりと問題を受け止め対応、対策をしない限り良くはならないと思われます。ネガティブな問題ばかりですが産科医療の素晴らしさはたくさんあります。これからはポジティブな思考を心がけることも重要です。我々産婦人科医の使命は良い医療を患者さんに提供することであり、決して訴訟や自己防衛の萎縮医療を行うことではありません。今後、医療者、患者、国や社会がこの問題を真摯に受け止め、産婦人科環境が改善する時代が来ることを願っています。またそのときにはより良い医療を患者さんに提供できるように、産婦人科専門医として日々、自己研磨していきたいと思います。

日本産科婦人科学会千葉地方部会平成20年度冬期学術講演会を終えて～Changeはできたのか？

東京歯科大学市川総合病院産婦人科 高 松 潔



平成21年1月31日、日本産科婦人科学会千葉地方部会平成20年度冬期学術講演会が開催されました。今年度は東京歯科大学市川総合病院産婦人科が担当させていただきました。

前々日までは乾燥注意報が出ていたほど晴れの日が続いている千葉でしたが、当日は雨、というより前夜より風も強くて嵐といった雰囲気でした。さらに総武線や内房線が止まるというアクシデントもあり、よっぽど日頃の行いが悪いのかと反省させられました。このような悪天候にもかかわらず126名の先生方に出席いただきましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

今回はオバマ米国大統領に倣って、「change」を志向してみました。一つはプログラム・抄録集を千葉地方部会雑誌の2号に組み込むことです。正直なところ、費用はかさんでしまったのですが、書棚においても散逸することなく、他の号と並べることができ、見栄えとしてはよくなつたのではないかと自負しております。

もう一つは座長を若手の先生にお願いしたことです。実は本講演会の準備をしていたときに当院のあるスタッフから「発表したことはあっても座長の経験はない」という話がありました。言われてみれば多くの場合、部長などが指名されることが多く、若手にはなかなかチャンスがないのが座長です。逆に座長に指名されるとその領域を勉強しなおすというメリット(日頃勉強していないということですが)もあります。そこで今回は若手の先生を推薦していただき、座長をお願いいたしました。この試みも奏功し、応募いただきました21演題で熱い議論が繰り広げられ、予定時間を40分もオーバーしてしまうほどでした。ただ、この延長には幾度かコンピューターがフリーズするトラブルがあったことも関係していると思います。できるだけ演者の負担を減らすべく、発表スライドの事前送付をやめ、当日USBメモリーを用いてスライド受付と発表用PC間のファイル移動を行ったのですが、うまくいかない場面がありました。申し訳ありませんでした。

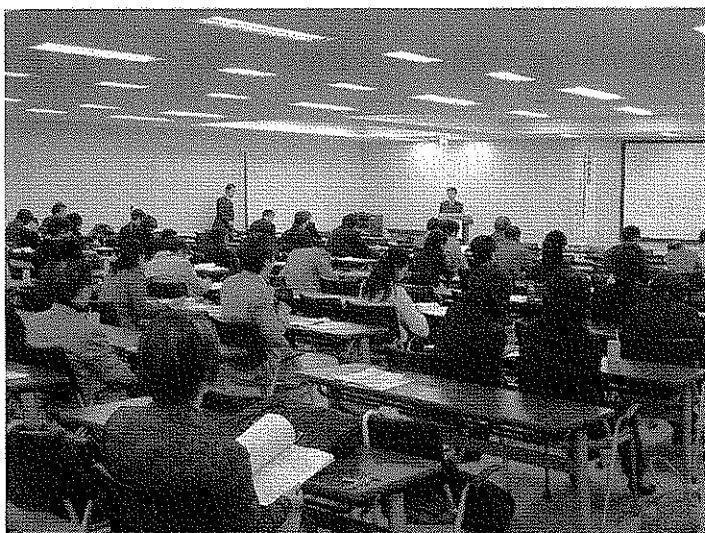
特別講演には自治医科大学大宮医療センター産科婦人科教授であられる今野 良先生においでいただき、「子宮頸癌予防」と題して、近々に変更が予定されている細胞診の新しい報告様式であるベセスタシステムと子宮頸癌の原因であるHPVならびにHPVワクチンについてお話をいただきました。今野先生はこの分野の第一人者であられ、日本産科婦人科学会における報告様式改定に関する委員会などの委員も務められておられるため適任と考え、お願いしたところ快諾していただいた次第です。約1時間にわたって、子宮頸癌の自然史、HPVとは何か？現在の細胞診結果報告書のピットフォールといった臨床に直結したお話をわが国においても承認される予定のHPVワクチンにいたるまで、たいへん分かりやすくお話をいただきました。今までどうもすっきりしなかった部分が霧が晴れるように理解でき、たいへん有意義なご講演でした。今回の講演内容については次号の千葉地方部会雑誌3巻1号に二次抄録の形でまとめていただけるとのことですので、お聞

きになれなかった先生方はぜひご覧ください。

学術講演会の終了は6時20分を回ってしまいましたが、会場を医師会大会議室からポートプラザホテルちば3階へ移して開かれた懇親会にも多くの先生方にお集まりいただきました。8時前にお開きになった後に外へ出るとすっかり雨風は治まっていました。

今回の冬期学術講演会で何がどれくらい「Change」したかは分かりませんが、今後も県内の産婦人科医療を良い方向へ変化させるべく努力していきたいと考えております。

最後になりましたが、特別講演を共催していただきましたグラクソsmithkline社、ならびに会をサポートしていただきました明治乳業と千葉産科婦人科医会事務局の斎藤さん、高宮さんに心より御礼を申し上げます。



社会保険に関する諸問題

社会保険担当理事 窪 谷 健

平成20年度日本産婦人科医会関東ブロック社保協議会が埼玉県支部担当で11月9日に行われました。まず、中央情勢報告として、4月の診療報酬改定においては「診療所は大幅な減収」「新設、点数引き上げや適応拡大されたものをもっと活用し算定して欲しい」「ハイリスク妊娠・分娩管理料加算やNSTの算定が少ない。」などのコメントがありました。

関東ブロック各県支部からの提出議題について協議した主なものを掲載します。

- (1) 切迫早産でリトドリン使用時に抗生素を併用した場合、リトドリンの禁忌に子宮内感染があるため、再審査が目立つ。
(回答) : 純毛様膜炎の病名で・・・
- (2) クロミッドの適応は「排卵障害に基づく不妊症の排卵誘発」だが、未婚の排卵誘発には使用できるか?
(回答) : 排卵障害のみの病名でも認める・・・
- (3) プレグランディン膣坐剤の保険適用は、妊娠中期における治療的流産及び子宮内胎児死亡とありますが、例えば妊娠27週の子宮内胎児死亡の場合でも算定可能か。
(回答) : 保険適応は「治療的流産」で可。すなわち、12週から22週までが原則
- (4) 切迫流産における「マグセント注100ml 1」の使用法で自院で血清マグネシウム濃度の測定が出来ず、外注せざるを得ない様な場合でも使用できるか。
(回答) : 血中マグネシウム濃度のみでなく症状もチェックして使用すべき。血中マグネシウム濃度は外注でも適時測定で可。
- (5) A. 分娩時子宮出血止血法(処置520点)と、B. 子宮双手圧迫術(手術1980点)のレセプト上での区別は?
(回答) : Aは弛緩出血、分娩第3、4期出血などの病名を。Bは最低30~40分の時間を要するので、その手術内容を明記し、出血量・血圧などの変動も詳記。
- (6) 超音波検査の適応について
 1. 帝切後の胎盤遺残(疑)
 2. 不全流産手術後
 3. 婦人科手術後(入院中)の確認検査、等は現在全て不可だが・・・
(回答) : 退院時または退院後の確認検査は現行では不可。

(7) アダラート 禁忌 妊婦について

妊娠高血圧症候群（重症）に対して使用されてきたが

（回答）：現行では、アルドメット（メチルドバ）、アプレゾリン（塩酸ヒドララジン）しか使用できない。カルシウム拮抗剤は禁忌となっているので勧められない。

(8) 習慣性流産妊娠に対するプレドニン5mgITX長期投与について（エビデンス、保険適応は）

（回答）：エビデンスは学会に問い合わせ、習慣性流産の病名でのプレドニン投与は不可。抗リノ脂質抗体症候群なら可。

(9) クラミジア頸管炎ではジスロマックを4錠1回投与となっているが、2錠3日間投与することは可か？

（回答）：4錠1回投与が基本だが可。傾向的投与は不可。

(10) 広汎性子宮全摘術施行時に尿管損傷したため、同日に尿管膀胱吻合術を行った場合、これを算定することは可か？あるいは病状により尿管膀胱吻合術が必要となった場合はどうか。

（回答）：同日であれば不可（一連の手術と考える）、しかし、後日（手術後一定の日数）で病名があれば可。材料費は算定可。

(11) 子宮内膜症による月経困難症の治療薬ルナベルは21日間投与、7日間休止とされているが、30日間連続投与を認めるか。

（回答）：不可。新薬は14日間投与が限度。同薬剤に関しては21日間としている。

(12) ディナゲスト、ルナベルによる治療中には超音波検査を毎月認めて良いか。

（回答）：1回/3ヶ月程度で。

(13) 卵管造影検査時に適応ある造影剤はほとんどありません。各県の対応は現在いかがでしょうか。

（回答）：薬剤がないので、造影剤ならほとんどのものが可。

(14) スプレキュアとディナゲストの併用は？

（回答）：原則不可。（同効薬である）

(15) ノンストレステストは、胎盤機能不全が適応となっていますが、胎盤機能不全の疑いでも認められますか？

（回答）：疑い病名では不可。

(16) 入院NSTが週3回まで認められるようになったが、解説では週単位となっている。どのように運用すればよいか。

（回答）：暦週となり、日曜から土曜までを1週の単位となり、これに従い算定を。

(17) 婦人科手術におけるピトレシン（パソプレシン）の使用は保険を認められるか。術式は？

（回答）：不可。千葉では認めている。（筋腫核出術）

◆ 各種報告 ◆

(18) 切迫流・早産のみでの細菌培養同定検査は原因探求として可とならないか。

(回答)：不可。病名を付けて下さい。

(19) 習慣性流産・抗リン脂質抗体症候群での検査項目はどこまで可能か。

(回答)：本部では決められない。各審査会で協議頂きたい。

(20) 実日数1日で同日に他の医療機関への紹介の症例で、血液検査、細胞診、培養検査など多数施行しているケースがありますが、病名さえあっていれば可能か。

(回答)：画一的で傾向的なら医療機関に注記を。

(21) 子宮頸管炎のみの診断で細菌培養同定検査に加えて、薬剤感受性試験や嫌気性培養を実施するケースもあるが。

(回答)：ともに可。傾向的には不可。

(22) 子宮脱での超音波断層検査は可でしょうか。膀胱との位置関係をみるためとの理由と考えますが？

(回答)：子宮脱のみの病名では不可。

(23) 卵巣腫瘍すでに同月超音波断層検査を行っている場合、その後、急性腹症の診断でもう一度超音波検査は可能でしょうか。

(回答)：卵巣腫瘍茎捻転疑いなら同月内でも可。急性腹症の病名だけでは不可。急性腹症の場合、他の検査があり、また詳記があれば可。病名も必要。

(24) 静脈麻酔の十分な体制で行われる長時間のもの（600点）は、10分以上とあります。流産手術（妊娠11週まで）での算定は可でしょうか？

(回答)：可。10分以上の時間は麻酔の導入から手術終了まであり覚醒まででないことに注意を。傾向的なら不可。

(25) 子宮内膜ポリープ切除術（4730点）で閉鎖循環式全身麻酔（6710点）の算定は如何か？麻酔時間は20分。

(回答)：子宮鏡下手術で20分以上なら可。傾向的には不可。

(26) 過期妊娠、胎盤機能不全などの疾病を回避するために、「予定日超過」の病名で実施される分娩誘導は、保険適応となるか？

(回答)：結果正常分娩なら自費、微弱陣痛等の病名で分娩誘発（アトニン等）を施行すれば保険。

(27) 不育症の病名で、小柴胡湯は算定可か？

(回答)：対応症状、病名を追記して下さい。

（以上、平成20年度秋季合同学術講演会で発表した内容を掲載しました。）

印旛市郡・山武地区

印旛・山武地区代表委員 長 岡 貞 雄

千葉県の北東部に位置する印旛・山武地区の概要ですが、印旛市郡は佐倉市、成田市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、と印旛郡をいう。山武地区は東金市、山武市、山武郡をいう。

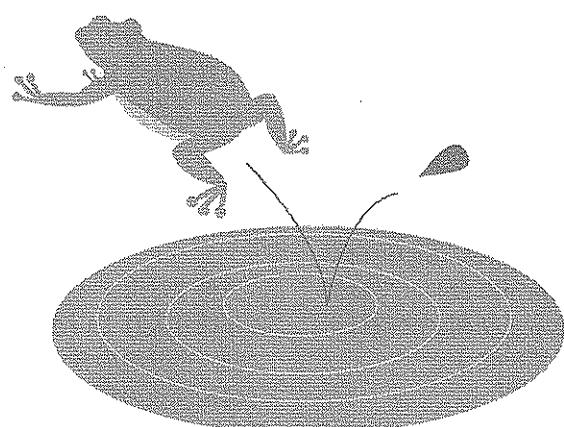
印旛地区は北は利根川を挟んで茨城県と対峙し、山武地区は九十九里海岸、太平洋に面した自然林の縁と、潮騒の地域で両方を合わせると総面積約917平方キロメートル（因に千葉市は272平方キロメートル）と広範囲である。印旛市郡・山武地区の歴史は古く印旛では古代ナウマンゾウの全身骨格化石が発見され、現在国立科学博物館、日本館に頭骨が展示されている。「天地人、直江兼続」が仕えた上杉家。戦国時代臼井城を攻撃するために「上杉謙信」が一夜で築いたといわれる砦、「一夜城砦跡」に私のクリニックは隣接している。現代では首都圏のホームタウンとして成長し、急激な人口増加もみられる。山武地区も4町村合併にて誕生した山武市をはじめ、市街地には多くの住宅地が有るが史跡や文化財が数多く、のどかな風景が広がっている。

人口は印旛市郡で63万7127人、山武市郡で15万8356人である。産婦人科施設は36施設。その内、分娩を取扱う施設は12施設ある。

印旛市郡地区には成田赤十字病院、東邦大学佐倉病院、日本医大千葉北総病院があり緊急時の対応は整っていると思われる。

先日地区の研修会を佐倉市ユーカリが丘のホテルで開催したところ、多人数の参加者があったものの、地の利の関係で山武地区からの参加者はなかった。このように会員全員が同時に参加することはできないにしろ、お互いの地区的連絡はとりながら行動はしているつもりである。

念に1~2回はこのような研修会を開催しようとしている。



TYMC東京女子医科大学八千代医療センター

東京女子医科大学准教授 八千代医療センター母性胎児科科長 坂井昌人

東京女子医科大学八千代医療センター(TYMC)は2006年12月8日に診療を開始し2年5ヶ月が経過しました。東京メトロ東西線から直通の東葉高速鉄道八千代中央駅より徒歩10分の高台に位置しています。東葉高速鉄道沿線は八千代市内でも新しい住宅地が拡がっており、若いファミリーなどの人口が増えている地域です。病床数355床の中規模病院ですが、外来機能、救急医療、小児医療、周産期医療などの現在求められている分野を充実させた、急性期医療に特化した高機能病院がコンセプトです。その機能を果たすためにTYMCは地域連携医療を前提としており、平均在院日数を2週間程度に設定して、急性期を脱した患者さんは地域の後方病院に引き継いで診て頂き、地域として医療が完結する構想で開院しました。2年半経ってみると、診療科により後方病院への連携の出来具合には差があるようです。

TYMCは県より総合周産期母子医療センターとして指定され、母性胎児科は入院棟3階にMFICU 6床、後方病床・一般病床35床、新生児科はNICU15床、GCU25床を有します。妊娠健診を行う外来も同じフロア内にあります。分娩エリアには居住性の良いLDRが4室あり、陣発入院時から分娩後約2時間までをそれぞれのLDRで過ごして頂きます。いわゆる「陣痛室」はありません。分娩エリア内には当科専用の手術室があり、階下の中央手術室と合わせて麻酔科の協力を得て、緊急帝王切開が常時行えるよう手術室を確保しています。

開院当初、当科は周産期センターとしての医療を中心に、婦人科診療は良性疾患を

中心に行って来ましたが、2008年7月より正岡直樹准教授を迎えて、専門の周産期医療はもとより、婦人科科長として悪性疾患も含めた婦人科診療のアクティビティーが高まり、婦人科手術数は開院後1年間に比べ倍以上のペースになりました。子宮がん、卵巣がんの手術、化学療法も行うようになり、産婦人科専攻医の研修には大変良いことです。婦人科の患者さんは母性胎児科フロアの他に、外科系診療科の一つとして院内外科系各病床に入院しています。TYMCでは多くの病床が診療科に固定されないフリーアドレス制でベッド・コントロール・ナースが振り分ける運用をしています。

分娩数は2007年が446件474児（双胎25、品胎1）、2008年は610件658児（双胎48）、帝王切開率2007年39.9%，2008年34.3%となりました。母体搬送は千葉県母体搬送システム（C-MATS）が始まった2007年10月から2008年9月までで174件（母体搬送コードイネーター調べ）を受け入れました。NICU満床が母体搬送受け入れ不能時の理由として最多ですが、2008年末以降は母性胎児科病床も満床のために受け入れ不能となることがあります。それぞれの病床数が増えなければ、今後母体搬送の受け入れ数、分娩数が大きく増えることはないと考えられます。

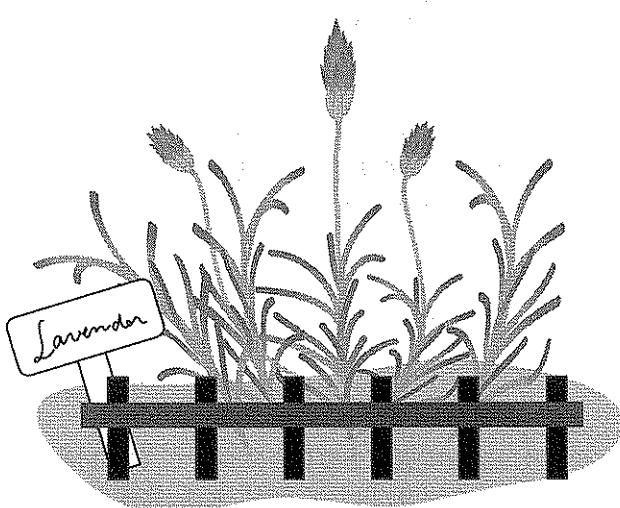
当科ではセミオープンシステムを開院時より採り入れています。ローリスク妊娠の2割、全分娩の8%程度ですが、外来での妊娠健診数の負担軽減にもなっています。さらに多くの先生方がセミオープンシステムで妊娠健診をして頂けることを希望しま

す。地域の産婦人科医会の先生方とは年3回程度の八千代周産期カンファレンスを開催し、症例検討会や講演会を行っています。今後も地域の先生方との連携が良好に行われるよう努めたいと思います。

母体搬送の受け入れ数や分娩数がほぼ一定なのに、病棟が混雑してきた理由としては、いずれ入院管理となるハイリスク患者さんの紹介受診数が増加していることが考えられます。前置・低位胎盤や双胎妊娠、胎児異常疑いなどです。胎児異常にについては、超音波外来で精査し、出生後に当院新生児科のほか、小児外科、小児科、脳外科などが対応しますので、新生児手術も行われています。心臓外科はないため、出生直後に心臓手術が必要と予想される場合は妊娠中に手術のできる病院へ紹介しています。

新たな病院の開設にあたっては、産婦人科医不足の折りであり、スタッフは開院当初は昭和大学からの派遣や地域の開業医院

の後継者が参加してくれていましたが、徐々に戻りました。現在は母性胎児科・婦人科として科長（准教授）1名ずつ、中島義之助教、女子医大本院産婦人科より交代で派遣の助教1名（現在は村田眞希子助教）、そして本年度より産婦人科専攻医2名（都築陽欧子医師、袖山雅子医師）が入局し、計6名と初期研修医2名で診療をしています。このほか、地域の産婦人科医院、病院から非常勤医として外来や当直の応援を頂いています。まだまだ人員は不足であり、今後も少しずつ入局者が増えることを願っています。症例は豊富ですので、今後は臨床研究などのアクティビティーも高め、より充実した研修ができるように努力します。将来的に当科を担っていく人材の育成をしていく段階に入ります。当科は産婦人科専門医のほか、周産期専門医、超音波専門医の取得を目指せる研修施設に指定されています。さらに魅力が感じられる科となり、入局希望者が続くようにしたいと考えています。



平成20年度第3回定例役員会議事録

日 時：平成20年9月26日（金）午後3時～5時

場 所：千葉県医師会第1会議室

出席者：十河支部長、吉田会長、河村副支部長、生水副会長、佐野・河西・鴨井・梁・窪谷・清水・水谷・木下・鈴木(眞)・大川(浩)・神谷・金田 各理事、井橋・大高 各監事、千本議長、吉岡副議長、吉田・八田顧問

1. 前回議事録の確認－了承

協議事項

1. 日産婦学会代議員選出規定の改正について（吉田）

日本産科婦人科学会の公益社団法人への移行に伴い代議員選出に関して民主的に選挙されなければならないため、各地方部会あて代議員選出規定の改正について依頼されている。

役員の中から策定のワーキンググループを作り、案を作成してはどうか。次の合同協議会までに決定し、次年度の代議員を新しい規定により選出したい。一了承。

- ・ワーキンググループについて

選考委員会で行うこととし、ワーキンググループの長は生水副会長にお願いしたい。一了承。

- ・臨時総会の日程について 来年1/31(土)に開催予定としているが、立候補期間もあるので、スケジュール的に間に合わない場合は改めて日程を検討する。

2. 第6回日本胎児治療学会学術集会寄付協力依頼について

財政的な援助を求める後援はよいが、寄付については予算をとっていないため、寄付協力についてはお断りすることとする。（胎児治療の標準化を目的とした学会）

3. その他

- ・拡大産婦人科医療提供体制検討委員会（11/1）について

今回、千葉からは発表者なしとする。

- ・ハイリスク妊婦共同管理料について（鈴木真）

周産期ネットワークで算定できるか数が多ければ検討していきたい。

報告事項

1. 日産婦会全国支部献金担当者連絡会（7/6 大川浩）

施設配分について、配分に格差があり質問した。申請に偏りがあるためとのことで、今後は障害児施設へアピールの強化が必要。伊藤園の自動販売機設置も2～3万円の献金額になるので会員に検討していただきたい。

2. 支部社保委員会について（8/19窪谷）

関プロ社保委員会に提出する議題並びに関プロ社保協議会に提出する議題、要望事項を検討した。保険に関する質問があれば今後まとめて提出していきたいので、事務局あて連絡いただきたい。

3. 日産婦会関プロ支部長会について（9/14十河）

4. 日産婦会関プロ周産期救急医療実態調査委員会について（9/14鈴木真）

5. 日産婦会関プロ協議会について（9/14十河、河村、河西、鈴木真）

千葉県のC-MATSの運用状況について報告した。各県ともスタッフの確保が課題。

6. 支部産科医療補償制度説明会について（7/25, 9/25佐野）

- 第1回（7/25）125名出席。第2回（9/25）86名の出席があった。
7. 支部医療安全委員会について（8/28佐野）
医療補償制度説明会開催について検討した。
8. 千葉県医師会医療安全推進委員会について（9/4佐野）
厚労省「医療の安全の確保に向けた医療事故による死亡の原因究明・再発防止等のあり方に関する試案—第3次試案」等についての検討を行った。
9. 千葉県医師会医学会運営委員会について（9/18吉田）
千葉県医師会医学会が12/7に開催される（演題締切は10/10）。
来年は第10回の記念大会となり11/28、29に幕張で開催される。各医会による分科会が開催されることとなっており後日各医会へ依頼される予定。
一開催の条件が合えば秋季研修会として開催してはどうか。担当地区と相談する。
10. 日産婦医会全国支部がん担当者連絡会について（9/21河西）
2年に1度開催されている。ペセスダシステム2001についての説明があった。
11. 秋季学術研修会開催について（梁）11/15に開催。
12. 助産師のつどいの後援について
県看護協会より後援依頼がきている。一後援について了承（事後承諾となるが）。
後日、挨拶について依頼される予定。支部長は出席できないため、代理として副支部長が出席することとする。
13. その他
・地方部会雑誌への投稿、広告依頼についてご協力をお願いしたい。

平成20年度第4回 日本産婦人科医会千葉県支部 定例役員会議事録

日 時：平成20年10月24日（金）午後3時～5時

場 所：千葉県医師会 第1会議室

出席者：十河支部長、諏訪部・河村副支部長、大川（玲）・佐野・河西・水谷・高松・金田 各理事、千本議長、吉岡副議長、八田顧問

1. 前回議事録の確認－了承

協議事項

1. 平成20年度家族計画・母体保護法指導者講習会12/6出席者について（十河）

出席予定者—十河、諏訪部、吉岡 その他希望者があれば事務局まで。

2. その他

報告事項

1. 日産婦医会全国支部長会について（9/28十河）

2. 第35回日産婦医会学術集会について(10/11～12（福井市） 十河)

3. 千葉県看護協会主催「助産師のつどい」について（10/11諏訪部）

4. 母体保護法指定医師指定審査委員会について（10/16十河、河西）

申請のとおり了承された。

指定医更新者の、研修会への出席、中絶報告の報告を徹底していきたい。

中絶報告書未提出の場合は保留とすることも考えたい。告書は必ず提出いただくよう役員からも周知していただきたい。（実施がない場合も、指定医毎に毎月報告が必要）

5. 平成20年度女性の健康週間 市民公開講座について

資料のとおり開催予定。意見があれば申し出ていただく。

6. 産科医療補償制度加入状況について(佐野)

千葉県の加入状況83.3% 未加入施設には電話などで加入をお願いしているが、未加入施設の所属地区の役員からも働きかけをお願いしたい。

機構の対応について、支部から改善を求めてほしい。

7. その他

・次回役員会11/28について

終了後に恒例の忘年会を開催したいがいかがか。（十河）－了承

県健康福祉部（山本理事）より県立こども病院の周産期機能の付加に関して説明を行いたいとのこと。次回役員会で説明いただくこととしたがいかがか。

－了承

・平成20年度臨時総会 1/10について

役員改選にあたり、今後のスケジュールを次回お示ししたい。（河西）

・性教育セミナーの開催について（大川玲）

来年2月19日頃開催を計画している。

・S T D調査報告について（大川玲）

報告未提出の方は提出をお願いしたい。

メールなどで督促しているのでご協力を。

平成20年度第2回合同協議会議事録

日 時：平成20年11月28日（金）午後3時～5時10分

場 所：京成ホテルミラマーレ

出席者：十河支部長、吉田会長、諫訪部、河村副支部長、生水副会長、大川（玲）、佐野・河西・鴨井・梁・清水・高松・鈴木（真）、大川（浩）、金田 各理事、林・井橋・大高 各監事、千本議長、吉岡副議長、吉田・八田顧問

地区代表委員：本間、村田、本田、吉岡、富岡、芳野、宇田川、加藤、内藤 各委員

1. 前回議事録の確認—了承

- 千葉県健康福祉部（山本理事、こども病院 伊達院長、他）より「千葉県こども病院の周産期機能の付加について」説明がなされた。
開院20年になるが、母子分離の問題等があり一貫した医療を提供したいことから、産科機能を付加することを検討している。（詳細は配布資料のとおり）
 - ・常勤医2名で対応できるのか、検討が必要では。
 - ・医会としても協力していきたいので、何かあれば相談していただきたい。

協議事項

1. 日産婦学会代議員選出規程の改正について（吉田、生水）

11/20に日産婦学会代議員選出規程改正に関するワーキングを開催し、改正案について検討を行った。今後は1月中に立候補受付け、全会員による投票を行う予定。選挙管理委員を来月に内示し委嘱したい。臨時総会の承認後すぐに対応できるように、準備を早めに進めることになるがご了承いただきたい。選挙実施について地区会員へ周知いただきたい。

投票に関して：候補者は何名連記か。選挙管理委員会で決定することになるが7名程度が良いのでは。（多いほうが同点になりにくい）

2. 支部・地方部会臨時総会の開催について（河西）

資料のとおり開催通知、選挙執行について代議員、会員へ通知したい—了承。

立候補届出用紙は一部文言を訂正することとした。

3. 日産婦学会功労会員の推薦について（吉田）

該当者に個別に確認することとした。

4. 第9回性教育セミナーの開催について（大川玲）

資料のとおり開催したい—了承。開催にあたり御協力をお願いしたい。

5. 千葉県母性衛生学会セミナー開催への協力について（河西）

リーフレットの配布について協力依頼があった。前年も協力したがいかがか—了承。会員への発送物に同封して配布する。

6. その他

地方部会雑誌に冬期学術集会の抄録集を掲載したい（高松）—了承。2巻2号として発刊する。

報告事項

1. 日産婦医会関プロ支部長会について（11/9十河）

2. 日産婦医会関プロ社保委員会について（11/9河村）

3. 平成20年度日産婦医会関東ブロック社保協議会について（11/9十河、河村）

4. 日産婦医会関プロ幹事会について（11/15大川玲）

◆ 役員会等報告 ◆

5. 支部・地方部会秋季学術研修会について（11/15梁）
6. 支部・地方部会「女性の健康週間」市民公開講座について（梁）
7. 日産婦学会平成20年度専門医審査について（木下）
8. 千葉県国民健康保険診療報酬審査委員の推薦について（十河）
県医師会より任期満了に伴う推薦依頼があり、再任で3名を推薦した。
9. 産科医療補償制度加入状況について（佐野）
未加入施設へ引き続き役員から声掛けをお願いしたい。
10. 産婦人科診療ガイドライン指導者講習会出席者について（吉田）
12/23に開催される。出席希望者があれば申し出ていただく。
11. 日産婦学会代議員選出規程改正に関するワーキングについて
(11/20吉田、生水、梁、十河、諏訪部、河村、河西) (協議1で報告)
12. その他

平成20年度第5回定例役員会議事録

日 時：平成21年1月23日（金）午後3時～5時

場 所：千葉県医師会 第1会議室

出席者：十河支部長、吉田会長、諏訪部・河村副支部長、生水副会長、大川（玲）・河西・鴨井・梁・清水・水谷・佐々木・木下・高松・金田 各理事、井橋監事、千本議長、吉岡副議長、吉田・八田顧問

1. 前回議事録の確認－了承

協議事項

1. 平成20年度医長懇談会の開催について
次回役員会終了後に開催する。議題については、担当理事に一任。
2. 平成20年度 第12回ちは思春期研究会の後援について（河西）
後援を了承。
3. NPO法人子ども劇場千葉県センター「ママパパラインちば」活動の後援、広報支援依頼について（大川玲）
後援について了承、活動について協力することとする。
4. 日産婦医会関プロ幹事会（2/14）提出議題について（大川玲）
役員から提案があれば受け付けたい。
5. その他

支部・地方部会と企業との講演会共催について（河西）

GE横河メディカルからの研修会共催依頼がきている。共催で行うか協議した。

—学術部にて共催のあり方について検討し、後日結果報告する。

報告事項

1. 第116回関東連合地方部会理事会、総会について（11/29,30吉田）
2. 日本医師会平成20年度家族計画・母体保護法指導者講習会について
(12/6十河、吉岡)
3. 支部・地方部会臨時総会について（1/10十河、吉田、生水）
 - ・支部役員について（十河）
役員会と総会の承認を得て指名できることとなっている。
副支部長一河村 堯、理事一塙谷健、長田久夫先生を指名したい。
顧問一八田賢明、吉田之好先生に引き続きお願ひしたい。
 - ・地方部会役員について（生水）
理事一長田久夫、佐々木寛先生を指名したい。
—上記について了承。
4. 日産婦学会代議員選出について（吉田）
本部代議員選挙実施にあたり、選挙管理委員を5名委嘱し、有権者に投票用紙の送付が行われたところ。今後は1月27日に投票締切、1月29日17:00より開票を行う。
立候補者は配布資料のとおり17名。
5. 日産婦学会功労会員の推薦について（吉田）
河村 堯先生を推薦した。
6. 平成21年度日産婦学会専門医認定二次審査試験（面接試験）担当者について（木下）

◆ 役員会等報告 ◆

宇田川秀雄（旭中央病院）、坂井昌人（女子医大八千代医療センター）の2名を推薦した。

7. 日産婦学会 各都道府県知事あて「現場の産婦人科勤務医の待遇改善推進のための要望書」提出について（吉田）

要望書を受けて、県医療整備課より病院長あて勤務医待遇改善についての文書が近日中に送付されることとなっている。

8. 日産婦医会会費減免申請者について（諏訪部）

21年度会費減免者について、7名の対象を申請する。

9. その他

- ・平成21年度妊婦健診についての交渉について（1/22金田・十河・河西）

県市町村会との第1回目の交渉を行った。後日もう一度交渉を行う予定。

（意見）・初診料については5,000円のラインで交渉すべき。

・無料券ではなく、補助券として交渉できないか。 等

一出された意見をふまえて市長村会と交渉する。担当役員に一任する。

- ・女性の健康週間市民公開講座について（梁）

準備の進捗状況等を報告。 今後ポスターなど配布予定。

- ・性教育セミナーについて（大川玲）

関係役員等に出席について依頼した。多数出席いただきたいので周知いただきたい。

- ・冬期学術講演会について（高松）

1/31に開催する同講演会について多数参加いただきたい。特別講演はグラクソスミスクライン社との共催で行う。

平成20年度第6回定例役員会議事録

日 時：平成21年2月27日（金）午後3時～5時30分

場 所：京成ホテルミラマーレ

出席者：十河支部長、吉田会長、諫訪部副支部長、生水副会長、大川（玲）・河西・鴨井・梁・清水・水谷・鈴木（康）・高松・神谷・金田 各理事、林・大高監事、千本議長、吉岡副議長、吉田・八田顧問

1. 前回議事録の確認－了承

協議事項

1. 平成20年度事業報告、平成21年度事業計画・予算(案)について(各理事)
次回検討することとする。（未提出の場合、事務局へ連絡を）
2. 企業主導の講演会への学会・医会の共催について（梁）
今後の共催のあり方について学術部より資料のとおり提案された。
共催とする場合、費用面でも応分の負担が必要か？費用負担が必ずしも必要ではないのでは。
会員の益になるように運用してはどうか。
－再度、検討することとする。
3. 日本助産師会千葉県支部「国際助産師の日」の集いの後援依頼について(河西)
後援を了承。

報告事項

1. 日本産科婦人科学会代議員選挙について（1/29河西）
千葉地方部会における代議員選挙管理委員会の下に行われ、14名を選出した。得票数は公表しない。本部役員・理事選挙は現在行われているところ。
2. 日本産科婦人科学会千葉地方部会冬期学術集会について（1/31高松）
126名が出席した。発表者に千葉地方部会雑誌への投稿を勧めていただきたい。
3. 日本産科婦人科学会臨時地方部会長会について（1/31生水）
公益社団法人の移行に関して説明があった。移行に伴い、今後は地方部会の名称、本部のロゴ等が使えなくなる予定。4～5年かけて検討される予定。
4. 医療安全委員会について（2/5佐野）
千葉県医師会医事紛争処理特別委員会委員 湯原委員辞任による推薦者について検討した。
年齢、地区などを考慮し、医療安全委員 峯田先生（千葉市）を候補者とし委員会で決定した。
医会として峯田先生を推薦したいが、いかがか。－了承。峯田先生を推薦することとする。
また、母体搬送の事例について検討した。
5. 日本産婦人科医会関プロ幹事会について（2/14大川玲）
21年度関プロ協議会 9月13日 長野県で開催予定。
6. 第9回性教育セミナーについて（2/19大川玲）
44名が出席した。
7. 周産期委員会について（2/21鈴木真）－次回鈴木理事より報告いただく
8. 日本産科婦人科学会関東連合地方部会理事会（2/24吉田）
9. 県市町村会との妊婦健診の交渉について（2/9, 2/24十河、河西、金田）
交渉状況は資料のとおり。再診料・指導料等について300点で提示されている。

◆ 役員会等報告 ◆

医会として了承するか検討 - 役員へのアンケートの結果、再度交渉との回答が多かったので再交渉してはどうか。- 再度交渉する。医会の要望が通らなかった場合、1年のみの契約として、来年度の要望を伝えることとする。

10. 千葉県医師会母体保護法指定医師指定審査会について(2/26十河・生水・河西)

新規3名、異動1名、改築1名を審査、了承した。

刑事事件で罰金刑が確定した指定医の指定について検討した。前例を調べて、次回再度検討することとなった。

11. 産科医療補償制度の運用について（佐野）

終了後、18時より同所にて医長懇談会を開催。

平成20年度第3回合同協議会議事録

日 時：平成21年3月27日（金）午後3時～5時30分

場 所：千葉県医師会第1会議室

出席者：十河支部長、吉田会長、諏訪部、河村副支部長、生水副会長、大川(玲)・佐野・河西・

鴨井・梁・清水・水谷・神谷・金田 各理事、井橋・大高 各監事、千本議長、

吉岡副議長、吉田顧問

地区代表委員：本間、村田、本田、吉岡、富岡、芳野、宇田川、加藤、内藤 各委員

1. 前回議事録の確認－了承

協議事項

1. 平成20年度事業報告、平成21年度事業計画について(各理事)
 - 各担当からの事業報告、計画(案)について検討を行った。
 - ・千葉県医師会医学会への参加について (H21.11.28,29幕張にて開催)
 - 参加について検討。各医会が参加を予定しているので当会も参加する（メイン会場の近くであれば）
 - ・母子保健部 N C P R 講習会について
 - 周産期新生児研究会が行っている講習会に対し当会から補助を行うこととする。
 - 平成21年度30万円を補助予定。
2. 平成21年度収支予算(案)について (諏訪部)
 - 予算案（資料）について説明。各部署からの要望額に対し増減を検討した。
3. 日産婦学会専門医審査千葉地方委員会委員について（吉田）
 - 会長、副会長、支部長、副支部長、総務、学術、広報担当理事からなる12名を選任している。次期も同様に選任したいがいかがかー了承。
4. 平成21年度支部・地方部会合同研修会について
 - 開催について了承。 例年通り共催で行う。
5. 千葉県STD懇話会学術講演会の共催依頼について（河西）
 - 共催でなく後援でもよいので援助いただきたい（吉田会長 ※懇話会代表世話人）
 - 一後援とする。
6. その他

報告事項

1. 平成20年度県立・国立・公立・大学病院等産婦人科医長との懇談会について
 - (2/27河西) 役員会終了後、同所（京成ホテルミラマーレ）にて開催、28名が出席。
 - 各病院の近況について報告いただいた。
2. 平成20年度「女性の健康週間」市民公開講座について（3/7梁）
 - 千葉市文化センターにて開催。出席者158名。収支について報告一了承
3. 日産婦医会関プロ支部長会・役員会について（3/7十河・大川玲）
4. 日産婦医会通常総会について（3/22十河・諏訪部）
 - 次期役員の選出が行われた（資料のとおり）
 - 産科医療補償制度について質問があったが、回答が得られなかった。
5. 県市町村会との妊婦健診の交渉について（十河・河西・金田）

◆ 役員会等報告 ◆

- 前回役員会で示した金額で決定した。22年度の交渉については5月に行う予定。
6. 千葉県支部・千葉地方部会 次期地区代表委員、副地区代表委員について
資料のとおり地区から報告された。
 7. 千葉県支部・千葉地方部会 次期代議員、予備代議員について
資料のとおり地区から報告された。
支部代議員、地方部会代議員は兼任が望ましいので、千葉地区については検討していただきたい。
 8. 平成20年度日本産科婦人科学会千葉地方部会学術奨励賞について
今年度応募者なし。再度募集を行うか。一受賞者なしとする。
選考基準など見直しを行ってはどうか、表彰式を冬期研修で行うなど宣伝効果が高い方法で行う等検討しては。
 9. 産科医療補償制度について（佐野）
配布資料を読んでいただき、質問があれば連絡していただく。質問があればとりまとめて支部から本部へ提出する。
 10. その他
今年度をもって交代（役職交代含む）する役員、地区代表委員より一言挨拶をいただいた。
清水理事、吉田会長、本間・富岡・内藤地区代表委員

会員の訃報・入退会・異動(変更)状況

[訃 報] 謹んでお悔やみ申し上げます。

<敬称略>

千葉	鈴木 昭		12月
船橋	山口 順	山口医院	1月
印旛	林 泰雄		3月

[入会(転入)]

地 区	氏 名	医 療 機 関 名	届出月
印旛	西方 紀子	成田赤十字病院(静岡から)	11月
千葉	宮西 香里	千葉大学医学部(研修医)	11月
船橋	鎌田 美保	船橋二和病院(埼玉から)	11月
千葉	芝崎 智子	みやけウィメンズクリニック(埼玉から)	12月
船橋	水谷 美貴	みきレディースクリニック(東京から)	12月
銚子	鈴木 雅代	島田総合病院(東京から)	1月
市原	中村 泰昭	帝京大学ちば総合医療センター(東京から)	1月
安房	南澤 潔	亀田総合病院(富山から)	4月
柏	鈴木 史朗	国立がんセンター東病院(愛知から)	4月
習志野	西川 美名子	津田沼中央総合病院(愛知から)	4月
船橋	阿部 亮	北習志野花輪病院(入会)	4月
松戸	海野 洋一	国保松戸市立病院(医会入会)	4月
松戸	白石 康子	オーククリニックフォーミズ病院(栃木から)	4月
鎌ヶ谷	中村 靖	鎌ヶ谷総合病院(東京から)	4月
千葉	菅野 光	みつわ台総合病院(東京から)	4月
八千代	都築 陽欧子	東京女子医大八千代医療センター(入会)	4月
船橋	矢野 亮	船橋二和病院(入会)	4月
安房	伊豆田 千夏	亀田総合病院(入会)	4月
印旛	塙 真輔	成田赤十字病院(入会)	4月
千葉	植原 貴史	千葉大学医学部附属病院(東京から)	5月
流山	江澤 正浩	南流山レディスクリニック(東京から)	5月
千葉	石川 博士	千葉大学大学院医学研究院生殖機能病態学(留学先より)	5月
船橋	谷口 博子	社会保険船橋中央病院(埼玉から)	5月
市原	秋山 育美	帝京大学ちば総合医療センター(東京から)	5月
千葉	曾根 国瑞	千葉大学医学部附属病院(東京から)	5月
千葉	山縣 麻衣	千葉市立海浜病院(入会)	5月
千葉	今泉 あすか	千葉大学医学部附属病院(入会)	5月
八千代	袖山 雅子	東京女子医大八千代医療センター(入会)	5月

[退会(転出)]

地 区	氏 名	医 療 機 関 名	届出月
茂原	清水 三郎	清水三郎医院(退会)	10月
船橋	石崎 満	石崎産婦人科(退会)	1月
松戸	駒場 崇喜	三国医院(退会)	1月
印旛	伊藤 やい子	伊藤医院(退会)	1月

◆ 事務局だより ◆

地 区	氏 名	医 療 機 関 名	届出月
八千代	藤 原 礼	東京女子医大八千代医療センター(神奈川へ)	2月
八千代	神 保 正 利	東京女子医大八千代医療センター(東京へ)	2月
我孫子	星 野 芳 江	星野医院(退会)	2月
野 田	田 島 秀 郎	小張総合病院(埼玉へ)	3月
旭	宇 野 雅 戯	国保旭中央病院(東京へ)	3月
千 葉	佐 藤 伊知朗	みつわ台総合病院(東京へ)	3月
いすみ	森 川 二 郎	もりかわ医院(退会)	3月
市 原	宇 野 美 幸	帝京大学ちば総合医療センター(退会)	3月
印 脳	赤 木 美香子	東邦大学医療センター佐倉病院(東京へ)	4月
松 戸	大 場 智 洋	千葉西総合病院(東京へ)	4月
柏	吉 岩 亮	巻石堂病院(茨城へ)	4月
市 原	荒 井 秀 二	荒井医院(退会)	4月
浦 安	阿 部 礼 子	順天堂大学浦安病院(埼玉へ)	5月
浦 安	楠 木 総 司	順天堂大学浦安病院(東京へ)	5月
市 川	千代田 達 幸	東京歯科大学市川総合病院(東京へ)	5月
浦 安	岡 部 瞳	順天堂大学浦安病院(東京へ)	5月
浦 安	氏 平 崇 文	順天堂大学浦安病院(東京へ)	5月

[異 動 (変更)]

地 区	氏 名	医 療 機 関 名	届出月
船橋→千葉	小 澤 賢二郎	山王病院	1月
千葉→印旛	生 田 雅 昭	松岸レディスクリニック	2月
旭→銚子	島 絵美里	新生産婦人科	3月
千葉(千葉大学→)	永 井 雄一郎	国立病院機構千葉医療センター	3月
柏(栃木から)	糸 井 英 雄	柏厚生クリニック	3月
松戸→印旛	山 本 憲 子	成田赤十字病院	4月
印旛→千葉	山 地 亜 希	千葉市立海浜病院	4月
松戸→千葉	山 地 沙 知	千葉大学医学部附属病院	4月
千葉→木更津	河原井 麗 正	国保直営総合病院君津中央病院	4月
千葉(千葉大学→)	高 木 亜由美	JFE健保組合川鉄病院	4月
流山→船橋	根 本 玲 子	船橋二和病院	5月
柏→千葉	秋 月 晶 子	千葉県がんセンター	5月

[母体保護指定医]

地 区	氏 名	医 療 機 関 名	届出月
柏	小 竹 和 美	小竹医院	3月
千葉	芝 崎 智 子	みやげウイメンズクリニック	3月
船橋	水 谷 美 貴	みきレディースクリニック	3月

編集後記

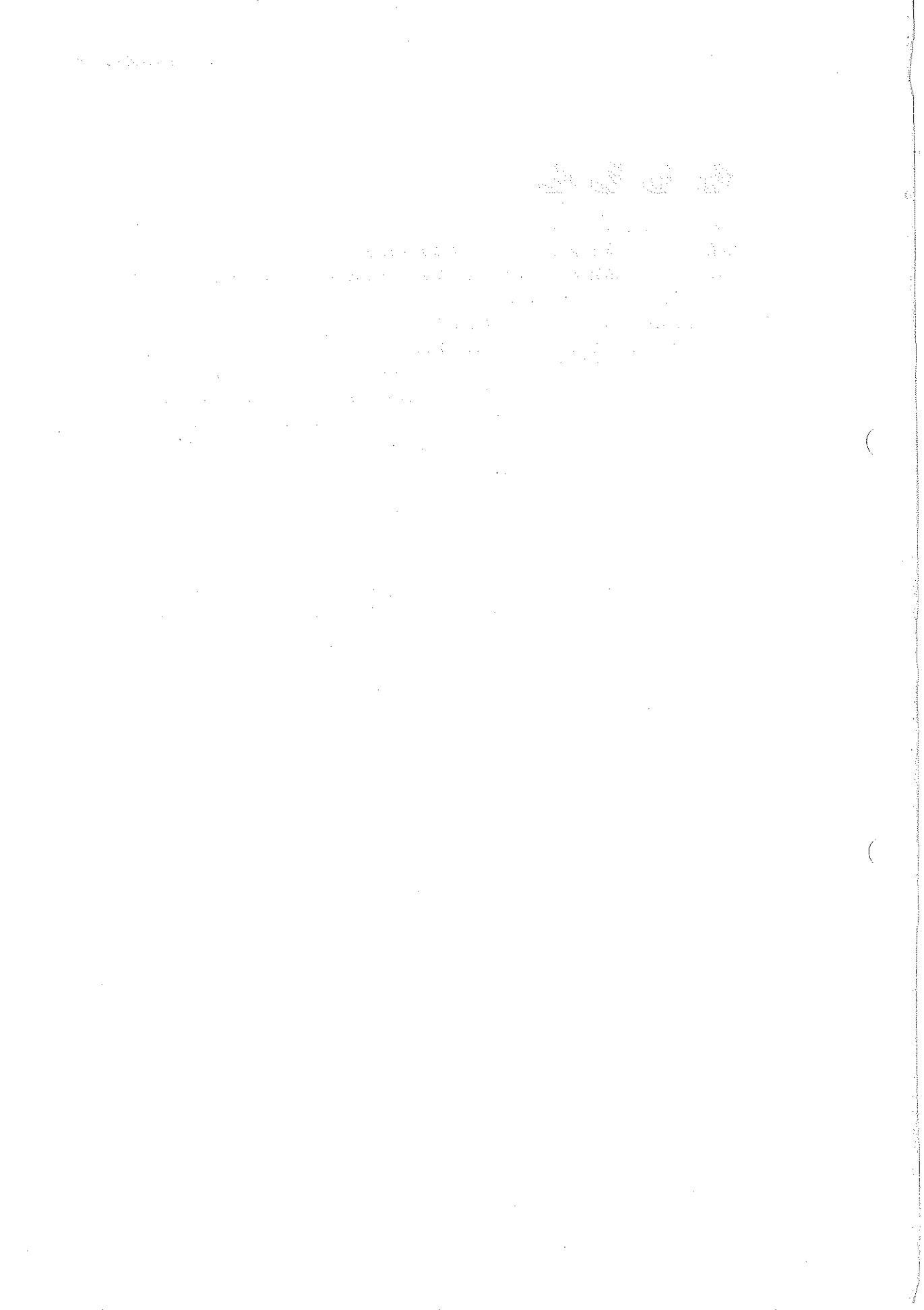
周産期の最近の変革には、ある面では驚き困惑している今日この頃です。

国の無策（？）による医療改革もしくは改悪が医療界そしてもっとも守られなくてはいけない国民への影響を考えると官僚主義をいかに改革し、国民へ利益を供することができるようになってゆくのか？

もともと医療関係者は、与えられた課題を黙々とこなし、それを国民に供し、国民は医療とは「このようなもの」と、善意の解釈をしているように思えてならない。何か変化・改革が起こると「医師」の「身勝手」と国民は考え、決して官僚主導とは思わない。このような土台を築いた官僚の「明瞭な頭脳」と「先を読む」洞察力には恐れ入るが。反面医師の頭脳が医学向上のみに働き、官僚と相対して論議を交わせる人材が少ないと残念に思う。武見太郎のような（少なくとも私は官僚との掛け合いに関してはこの人物を評価しています）ある面医療専門職でありながら、自分の医療への貢献を棚上げしてまで、医療界全体のために、身を捨てて働いた人を私は評価したいし、後継者が現われてほしいと切望するものです。

ごく一部の悪徳医師がわが身のためだけに、医療界全体を冒涜し、それがあたかも「多くの医師が同列」と国民に思われる現状が残念でならない。決して許される事柄ではなく、このような人物は、正しい良心的医療を行っている多くの医師が存在する「良好な医療」を行っている医療界とは、はっきり区別されるべきものである。

ますます窮地に立たされるであろう医療を救うために、どこかの時点で正しい改が実践されることを切望するのは私だけであろうか？否、多くの良心的医師はそのときを待っているものであろうことと切望しています。





母乳をめざして一歩、一歩。

赤ちゃんが、コナミルクで母乳栄養と同じ発育・成長が続けられるように、明治乳業は80年にわたり母乳の研究に取り組んできました。



赤ちゃんの元気な成長を願って



赤ちゃんのおなかの健康を願って

■ 赤ちゃんの免疫力強化に配慮しています。

母乳に含まれるラクトアドヘリンを増強し感染防御機能を強化。スクレオチドを配合して免疫力強化に配慮しています。

■ アレルギーに配慮しています。

母乳には含まれず、アレルギーの原因といわれるベータ・ラクトクロプリンを世界で初めて80%低減。これは明治乳業だけの技術です。

■ 赤ちゃんの発育成長に配慮しています。

DHA(ドコサヘキサエン酸)は脳や網膜の発達に大切な成分です。日本のお母さんの母乳にはDHAがたくさん含まれています。その母乳をお手本に、DHAを強化しました。



■ 消化吸収性に配慮しています。

消化されにくいベータ・ラクトクロプリンを選択的に分解しています。消化性の良いアルファ・ラクトアルブミンを母乳と同じ範囲まで増強しました。吸収性の良い脂肪も配合しています。

■ 赤ちゃんの便性に配慮しています。

フラクトオリゴ糖、スクレオチド、乳糖などを配合し、母乳のようなほどよい便性が期待できます。

★ 「ランズ産業技術賞」受賞

明治乳業は世界で初めてコナミルクにDHAを配合しました。その研究への世界的な評価により「ランズ産業技術賞」を受賞しました。



明治乳業株式会社 〒136-8906 東京都江東区新砂1-2-10

千葉県産科婦人科医会報（第70号）

平成21年5月25日 印刷

平成21年5月29日 発行

発行者 日産婦医会千葉県支部
日産婦学会千葉地方部会

〒260-0026

千葉市中央区千葉港7-1

千葉県医師会内

T E L. 043 (242) 4271 (代)

F A X. 043 (246) 3142

編集者 広報担当理事 高松 潔
広報委員会 岩崎 秀昭・坂井 昌人
山口 晓・吉岡 英征
野島美知夫・宇田川秀雄
佐々木 寛・高松 潔
鴨井 青龍

印 刷 三陽工業株式会社

すこやかな笑顔のために
ビーンスターク・スノー株式会社
<http://www.beanstalksnow.co.jp>

哺乳びん・乳首の消毒、医療器具等の消毒に



ピュリファンPに含まれる次亜塩素酸ナトリウムは

- 広範囲の菌に有効です。
- 耐性菌の報告がありません。
- 分解されるので低残留性です。

哺乳びん・乳首・医療器具等消毒液

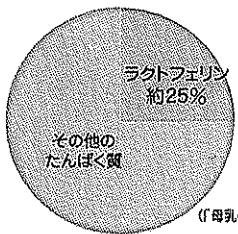
ピュリファン[®]P

理想の母乳に近いから

初乳(母乳)に多い
ラクトフェリン

母乳(特に初乳)に多く含まれ、乳幼児の健康と発育に重要なたんぱく質である
といわれているラクトフェリンを配合し、感染防御の働きを母乳に近づけました。

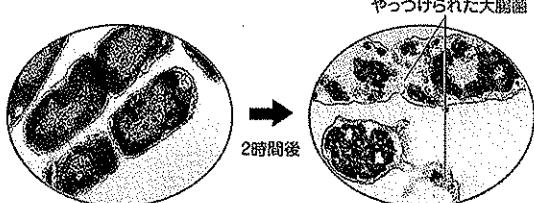
初乳(母乳)のたんぱく質中のラクトフェリンの割合



初乳: 黄色味をおびていて、
産後4~5日ごろまで
出る免疫物質をたくさん含んだおっぱい

(「母乳の栄養学」済瀬 功, 1998より)

実験結果の例



注: ラクトフェリンがおなかの中でラクトフェリンになります。ラクトフェリンを添加すると
大腸菌だってあつという間に退治。

DHA・スマントニミエリン

急成長する脳の発達に大切です。

2つのオリゴ糖

ヒフィス菌を増やします。

スクレオチド・β-ガロテイン

配合

森永ドライミルク はぐくみ

